Liquid Crystal Display
CANDELA®

取扱説明書

操作編

地上・BS・110度CSデジタルフルハイビジョン液晶テレビ

AGS24RZ1/AGS22RZ1

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

AGS19RZ1

イラストはAGS24RZ1です。

はじめに

この度はCANDELA製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ●本製品を安心してお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- ●この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明な点などがある場合に再度お読みください。
- ●保証書に、お買い求めいただいた販売店の名称とお買いい上げ日が記入されていることをお確かめください。

株式会社 ディーオン

安全上のご注意

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

〈図記号の例〉

△記号は警告（注意）を示します。

⃠記号は行為の禁止を示します。（この例は「分解禁止」）

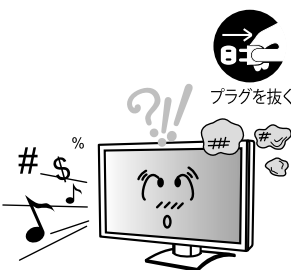
●記号は行為の強制を示します。（この例は「電源プラグを抜く」）

強制の記号です。必ず実行していただきたいことを示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■異音や異臭がしたら

製品が正常に機能しないとき、異常音や煙、異臭などが発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、テクニカルセンターにご連絡ください。

■内部に水や異物が入ったら

製品を、雨のあたる場所や水気の多い場所（台所やプールの近くなど）に置かないようにしてください。内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグを抜き、テクニカルセンターにご連絡ください。

■AC コードを大切に

破損した AC コードは、絶対に使わないでください。また、AC コードの上や周囲にはものを置かないでください。AC コードが破損しやすくなります。

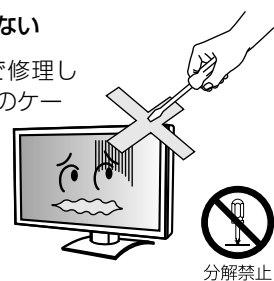
■改造しない、カバーを開けない

感電を避けるため、ご自分で修理しないでください。液晶テレビのケースを開ける、または取り外すと高電圧やその他の危険要因と接触する可能性があり大変危険です。専門のサービス員にお任せください。

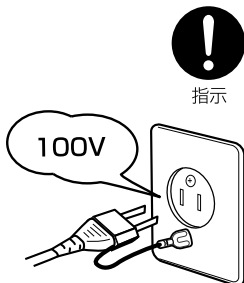
⚠警告

設置するとき

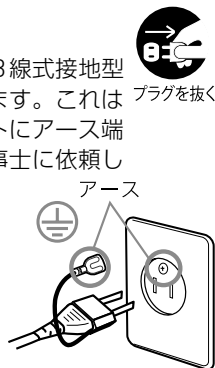
■電圧の確認

指示

この製品に使う電源仕様はAC100Vです。AC100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

■アースの利用

プラグを抜く

電源プラグにアース端子を備えた３線式接地型プラグを使用している機種があります。これは安全上の機能ですので、コンセントにアース端子を接続できない場合は、電気工事士に依頼してコンセントを交換してください。
また、アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。アース接続をはずす場合も、必ず電源プラグを、コンセントからはずしてください。

■屋外や浴室に置かない

水ぬれ禁止

雨のあたる屋外や水気の多い台所や浴室に置かないようにしてください。

■上にものを置かない

上載せ禁止

金属類や花びん、コップなどをテレビの上に置かないでください。

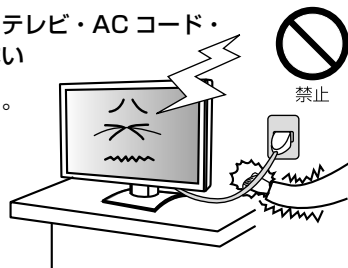
使用するとき・お手入れについて

■雷が鳴りだしたら、テレビ・ACコード・アンテナ線に触れない

禁止

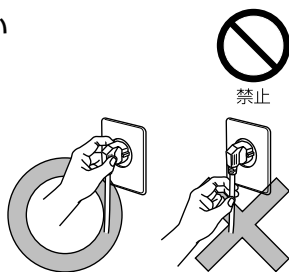
感電の原因となります。

■異物を入れない

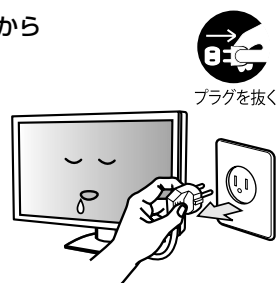
異物挿入禁止

感電や火災を避けるため、液晶テレビのケースのいかなる開口部・孔・透き間から金属類や紙などの燃えやすいものを挿入しないでください。

■ACコードを引っ張らない

禁止

電源コンセントから、ACコードを抜くときは、コードではなく、プラグ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

■清掃は電源プラグを抜いてから

プラグを抜く

清掃をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

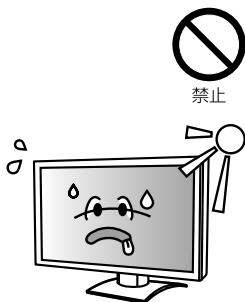
設置するとき

■温度の高い場所に置かない

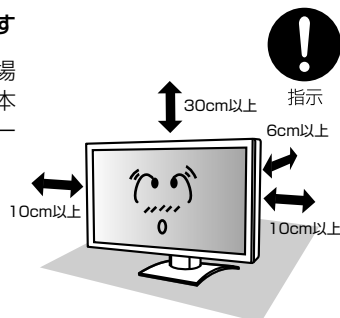
禁止

直射日光のあたる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。キャビネットの変形や破損によって感電の原因となることがあります。

■設置の際は壁から離す

指示

本棚などの通気の悪い場所に設置する場合は、本体と周囲との間にスペースを空けてください。

■通風孔を塞がない

禁止

本体にある開口部は換気用です。過熱を防ぐため、通風孔を塞がないでください。テーブルクロス・カーテンなどを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

■お子様にご注意

指示

小さなお子様の手が届かない場所でお使いください。倒れたりしてけがの原因となることがあります。

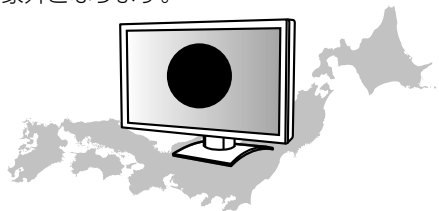
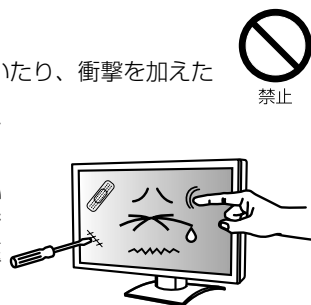
使用するとき・お手入れについて

■日本国内専用

指示

本製品は、日本国内の一般家庭用として設計・製造されています。国外で使用された場合や一般家庭用以外の用途で使用された場合は、サポート・保証の対象外となります。

■やさしく扱って…

禁止

液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしないでください。
もしも、ガラスが割れて内部の液晶 (液体) が目に入ったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

■長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグを抜く

長期の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

■清掃はやさしく

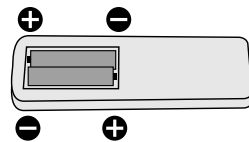
指示

清掃時は、本体と付属品が破損していないかチェックします。画面またはキャビネットに直接スプレーをかけたり、液体をこぼしたりしないでください。
水または非アンモニア系、非アルコール系のガラスクリーナを使用して、湿った柔らかいきれいな布でやさしく拭いてください。

⚠注意

使用するとき　つづき

■リモコンに使用している乾電池は、

●指定以外の乾電池 (マンガン電池など) は使用しない
●極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れたりしない
●表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目や口に入ったり、皮膚に付いたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具に付いたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

● ご使用中に製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
● 液晶テレビではテレビゲームをお楽しみいただけますが、光線銃などを使って画面を標的にしたゲームでは、原理上使用できません。
● 外部入力の映像や音声には若干の遅れが生じます。
● テレビ放送、外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。
映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感がありますが、故障ではありません。

液晶パネルについて

● 液晶パネルは、構造上、表示画面に黒い点（点灯しない点）、または輝点（光点）が見えることがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
● 液晶パネルは、長時間映し出しておくと、残像が出たり、液晶パネルの寿命を短縮させる場合があります。画面を見ないときは､節電機能やスクリーンセーバーをご利用ください。

廃棄、または譲渡するとき

● 家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの液晶テレビを 2009 年 4 月 1 日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
● B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては､（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。（カードが貼ってある説明書の表と裏をよくお読みください。）
● 梱包箱 (外箱と梱包材) を廃棄しないでください。
修理などで本製品を輸送する必要があるときに、ご利用いただくためです。
また、長期間ご使用にならないときにも、梱包箱に入れて保管してください。

免責事項について

● 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた損害、および、逸失利益などに関しまして、当社は一切の責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

必ずお読みください

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル（テレビジョン）放送とは？

地上波の UHF 帯を使用した地上デジタル放送のことです。取扱説明書では、「地上デジタル放送」と記載しています。

受信地点が、すでに放送地域になっていること

地上デジタル放送の受信エリアの目安については、下記にお問い合わせください。
総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター
0570-07-0101　03-4334-1111
受付時間　9：00 ～ 21：00（平日）
　　　　　9：00 ～ 18：00（土、日、祝祭日）
http://www.dpa.or.jp/
（2011 年 11 月現在）

地上デジタル放送には、UHF アンテナが必要です

UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型があります。地上デジタル放送を受信するには全帯域型または地上デジタル放送対応型の UHF アンテナをご使用ください。

UHF アンテナが、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていること

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できます。地上デジタル放送の送信塔が違う方向の場合は、UHF アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔に変更してください。

地上デジタル入力信号に、必要な強度があること

地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されます。そのため受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

お知らせ

- ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設で地上デジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

留意点

- 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、直ちに（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
- この取扱説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書と製品保証書は、大切に保管してください。製品保証書は、本製品を修理する場合など、当社のサポートをお受けいただく際に、ご提示いただく必要があります。
- 本製品に関するお問い合わせ、および修理に関しましては、お買い上げになった販売店、または、当社テクニカルセンターまでご連絡ください。
- この取扱説明書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。最新の情報についてはテクニカルセンターまでお問い合わせください。
- この取扱説明書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万が一、誤りや記載もれなどがございましたらテクニカルセンターまでご連絡ください。

ご注意

ソフトウェアの更新について

- ソフトウェアデータは、地上デジタル放送波にソフトウェア信号を載せて送信され、本機へデータをダウンロードします。
  ソフトウェアの更新は、本機の電源が切られているとき（電源インジケータが赤色点灯時）に自動的に実行します。また、ソフトウェアの更新処理には約 10 分かかります。長期間ご使用にならないとき以外は AC コードを抜かないようにしてください。

当社は、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）の会員です。ソフトウェア更新は、Dpa のエンジニアリングサービスで行います。

目　次

はじめに

接続する

チャンネル設定

テレビを見る

番組表を使う

メニューを使う

その他

地上デジタル放送について

放送フォーマットの種類

デジタルハイビジョン放送を中心に、4 種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送
放送フォーマット	1125i(1080i) 放送	750p(720p) 放送	525p(480p) 放送	525i(480i) 放送
走査線の数	1125 本 (有効 1080 本)	750 本 (有効 720 本)	525 本 (有効 480 本)	525 本 (有効 480 本)
走査方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16:9	16:9	16:9、4:3	16:9、4:3

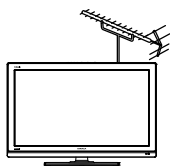
デジタルハイビジョン放送 1 番組と通常放送 3 番組程度を、時間帯によって切り換えて放送するマルチチャンネル放送もあります。

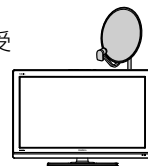
地上デジタル放送の特長

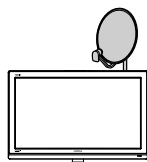
1. デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
2. 高音質放送（MPEG-2 PCM/AAC 方式）
3. ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明
4. 移動体受信・部分受信サービスに対応
   車や電車などでの移動体受信サービスや携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予約されています。
   ※本機では、部分受信サービスは受信できません。

本機で楽しめる放送

地上デジタル

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。
※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

BS デジタル

放送衛星を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
WOWOW などの有料放送を視聴するには別途契約が必要です。
※本機では、BS アナログ放送は受信できません。

110 度 CS デジタル

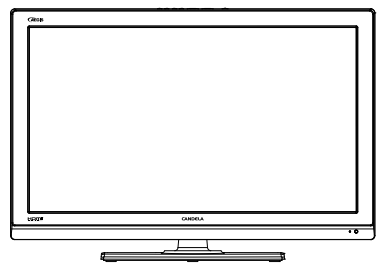
通信衛星を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
視聴するためには、別途 110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への契約が必要です。「スカパー！ e2」には CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

お知らせ

デジタル放送には 3 種類のサービスがあります。
- ● テレビ放送：従来からのテレビ放送です。
- ● データ放送：お住まいの地域の生活情報や天気予報、ニュースなどの放送です。
- ● ラジオ放送：音声を主とした放送です。

テレビ放送で データ連動 を押すと、データ放送を表示できます。(☞ 30 ページ)
ラジオ放送は、放送を休止しています。(2009 年 3 月現在)

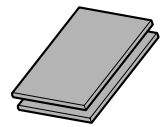
準備をする

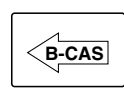
取扱説明書中のイラストは、AGS24RZ1 のものです。
ご購入の製品や付属品と、本取扱説明書に掲載されているイラストは異なることがあります。

製品と付属品を確認する

本体……1 台

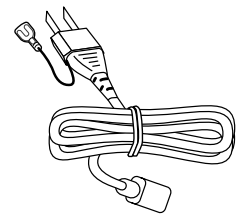
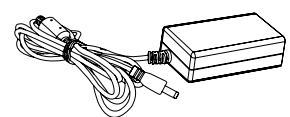
※ リモコンは、本体受光部から5m 以内、左右30° 以内でご使用ください。

リモコン……1 台

単 4 形乾電池……2 個

取扱説明書……2 冊

保証書……1 枚

※ 台紙からはずしてご使用ください。
※ カードの ID 番号は大切に保管してください。

B-CAS カード……1 枚

アンテナケーブル……1 本

AC コード……1 本

専用 AC アダプタ……1 本

スタンド固定ネジ……1 個

VESA 用取付けネジ…4 個

リモコンを確認する

単 4 乾電池を 2 個使用します。

1 裏ぶたをはずします

2 ⊕ ⊖をよく確かめて、⊖側から入れます

⚠ 乾電池は⊖側から入れてください。

3 裏ぶたを閉じます

落としたり衝撃を与えないでください。

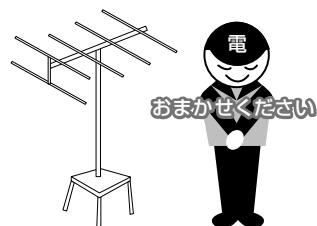
水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体で拭かないでください。

設置からチャンネル設定までの手順

1 本体を設置する（☞ 14 ページ）

2 アンテナ線を接続する（☞ 15 ページ）

アンテナ工事はプロにお任せください。工事の際は販売店にご相談ください。
アンテナの定期的な点検、交換により美しい映像を見ることができます。

3 外部機器を接続する（☞ 17 ページ）

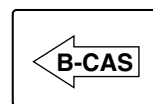
パソコンを接続する（☞ 19 ページ）

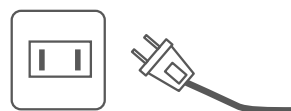
お使いの外部機器（ビデオ機器やオーディオ機器）やパソコンを接続します。

ご注意

- AV 機器／パソコンの取扱説明書も併せてご覧ください

4 付属の B-CAS カードを挿入する（☞ 20 ページ）

ご注意

- B-CAS カードを装着する際は、カードを水平にして斜めにならないように挿入してください。
- セットした B-CAS カードは抜かずにご使用ください。

5 AC コードを接続する（☞ 21 ページ）

ご注意

- AC100V コンセントをご使用ください。

6 テレビを見るためのかんたん初期設定をする（☞ 22 ページ）

各部の名称と機能

本製品を快適にお使いいただくために、リモコンとテレビ本体にある各部の役割りを覚えてください。
本体の操作ボタンでできる操作は、リモコンでもすべてできます。

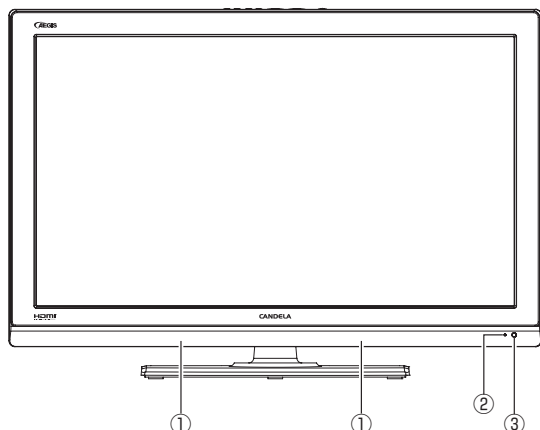
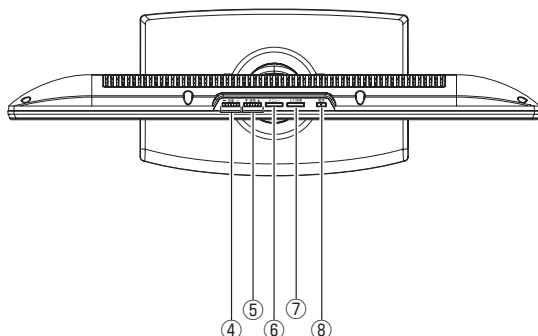
リモコン

＊各ボタンを押したときに画面に表示される表示時間はボタンごとに異なります。

各部の名称と機能（つづき）

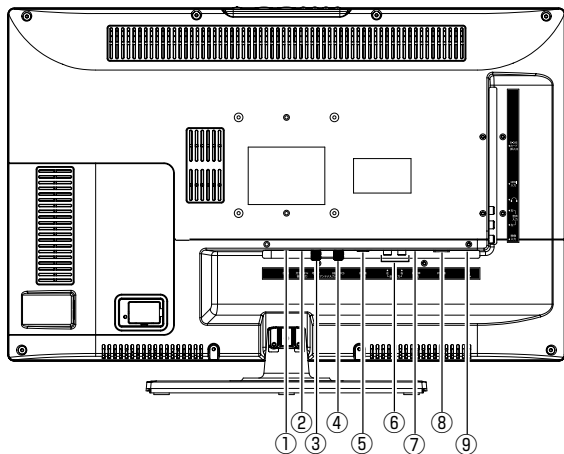
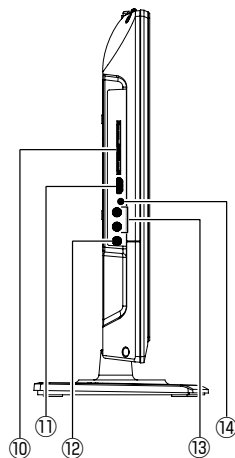
本体

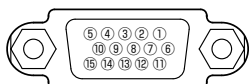
■ 正 面

■ 上 面

① スピーカー……………………音声が出ます。（ステレオ放送対応）
② 電源インジケータ…………色によって状態を示します。
　　消灯：電源コードが未接続
　　赤色点灯：電源オフ（省電力モード※ / 待機モード）
　　赤色点滅：電源オフ（録画実行中）
　　橙色点灯：電源オフ（録画予約 / 視聴予約 / オンタイマー実行中）
　　橙色点滅：電源オフ（ES ダウンロード中）
　　緑色点灯：電源オン
　　緑色点滅：電源オン（リモコン受信中）
③ リモコン受光部………………リモコンの赤外線を受光します。
④ 音量 －＋ ……………………スピーカーからの音量を調節します。メインメニューでの調整にも使います。
⑤ 選局 ▲▼ ……………………チャンネルを順送りまたは逆送りに切り換えます。
　　メインメニューの項目選択にも使用します。
⑥ メニュー………………………メインメニューを表示します。
⑦ 入力切換………………………デジタル放送および外部入力を切り換えます。
　　メインメニューの［決定］［戻る］ボタンの役割りもします。
⑧ 電源 ……………………………電源のオン・オフを切り換えます。

※ 省電力モードへは、電源をオフしてから約 30 分～ 40 分ほどで移行します。省電力モードに入ると番組表は更新されませんのでご注意ください。
　省電力モードから電源をオンして番組を視聴できるまでには約 12 秒程かかります。

接続端子

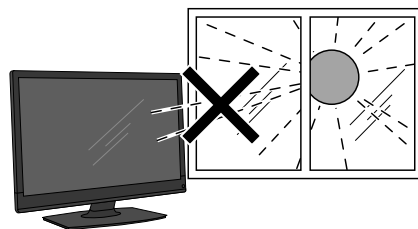
■ 背 面

■ 側 面

① DC 電源入力端子................................ 付属の専用 AC アダプタを接続します。(☞ 21 ページ)
② 光デジタル音声出力端子.................... サラウンド対応 AV アンプなど、デジタル音声（5.1 チャンネルなど）を再生できる機器と接続します。(☞ 18 ページ)
③ 地デジアンテナ入力端子.................... 地上デジタルアンテナを接続します。(☞ 15 ページ)
④ BS/110° CS アンテナ入力端子...... BS/110 度 CS アンテナを接続します。(☞ 15 ページ)
⑤ D 映像入力端子................................... D 端子を持つ AV 機器を D 端子ケーブルで接続します。(☞ 17 ページ)
⑥ 音声入力端子...................................... D 端子を持つ AV 機器を音声ケーブルで接続します。(☞ 17 ページ)
⑦ PC 音声入力端子................................ PC(パソコン) の音声出力端子と接続します。(☞ 19 ページ)
⑧ PC 映像入力端子................................ PC(パソコン) を接続します。(☞ 19 ページ)
⑨ USB 端子 .... USB ハードディスクを接続します。(☞ 別冊の 録画編 を参照ください。)
⑩ B-CAS カード挿入口.......................... 付属の B-CAS をカード挿入します。(☞ 20 ページ)
⑪ HDMI 入力端子................................... HDMI 端子を持つ機器（DVD プレーヤーなど）を接続して映像・音声をデジタルで伝送します。(☞ 18 ページ)
⑫ 映像入力端子...................................... 映像出力を持つ機器（ビデオ、DVD プレーヤー、ゲーム機など）と接続します。(☞ 17 ページ)
⑬ 音声入力端子...................................... ビデオ、DVD プレーヤー、ゲーム機などと接続します。(☞ 17 ページ)
⑭ ヘッドホン端子................................... ヘッドホンを接続します。接続時はスピーカーの音声はオフになります。

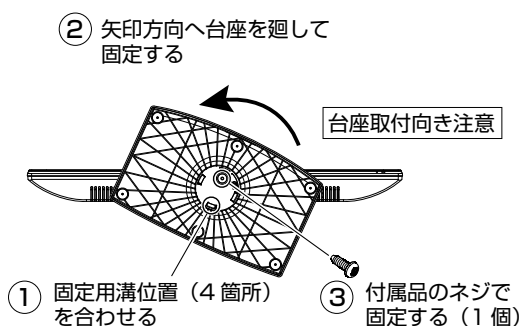
■ PC- アナログ入力端子

端子番号	機 能	端子番号	機 能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDC データ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号入力用 GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号入力用 GND	15	DDC クロック
8	青映像信号入力用 GND		

設置のしかた

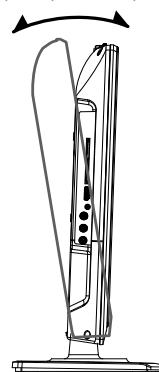
本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、動作が安定する場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

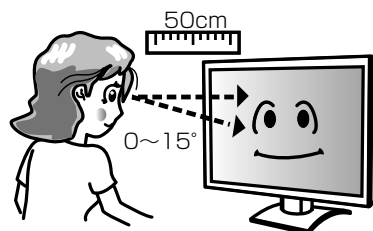
設置場所について

● 直射日光があたらず、気温が安定している場所を選んでください。
● グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。

台座を付ける

● 画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷いて作業してください。
● 台座の向きを確認します。台座の固定用溝位置（4 箇所）を合わせます。
● 矢印方向へ台座を廻し、カチッと音がするまで廻します。
● 付属のスタンド固定ネジ（1 個）で台座を固定します。作業中は、液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

■前後方向の角度調整するには…

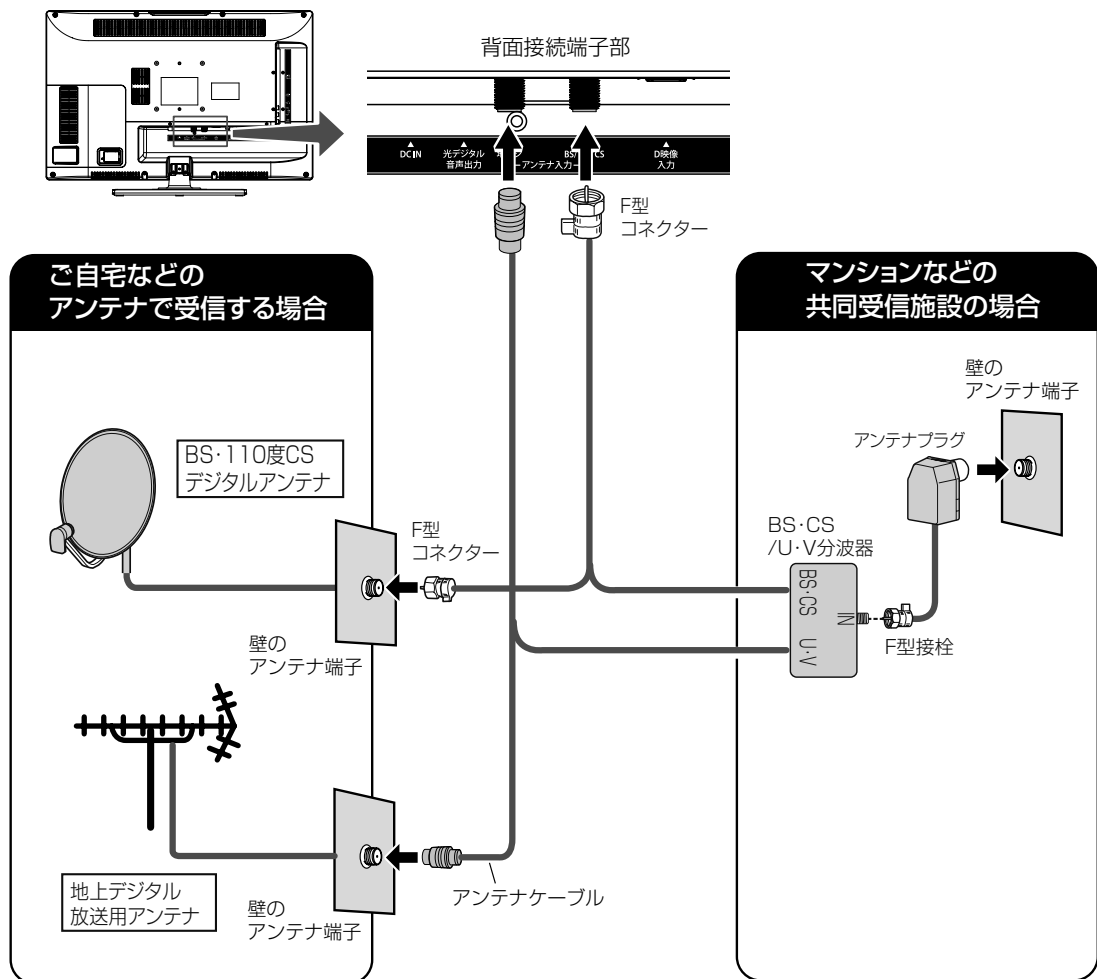
テレビの角度を見やすい位置に調整することができます。倒れたりしないよう、スタンド部分をしっかりと押さえて調整してください。

15°(± 2°) ～ −5°(± 2°)

■本機をパソコン用ディスプレイとして使用する際は…

● ディスプレイの角度はやや見下ろすように設定して、目の疲れを最小限に抑えるため画面から 50cm 以上離すように設置してください。
● ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明の明るさを適度に調整し、ディスプレイの反射を抑えてください。
● パソコンの作業時間は 1 日最大 6 時間を目安として 1 時間ごとに 10 ～ 15 分の休憩を取るようにしてください。

アンテナの接続

アンテナ工事には専門の技術が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

アンテナ線のつなぎかた

本製品は、2 つのアンテナ端子がありますので、間違えないように接続してください。

ご注意

- アンテナ線の接続には、付属のアンテナケーブルをご利用ください。
- 上記の接続図は一般的な例であり、お客さまの設置状況によっては新たにご準備いただくケーブル、分配器、分波器、アンテナプラグなどが必要になる場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。
- ケーブルを接続するときは本製品の電源をオフにしてください。
- 電波が弱い地域で市販のブースターをご使用の場合、電波と同時にノイズも増幅されるため、テレビ画面にブロックノイズが残る場合があります。これは、製品の故障ではありません。

お知らせ

地上デジタル放送を受信する場合

● 地上デジタル放送を受信する場合は、アンテナ、混合器、分配器、ブースター、ケーブル類はデジタル放送対応のものをお使いください。デジタル放送に対応していないものを使用すると、映像にブロックノイズが入ったり、チャンネルによって受信できないなどの現象が発生することがあります。
● 接続に使用する市販の同軸ケーブルには、減衰量が少なく経年変化の少ないS-4C-FB以上の特性のものを、F型コネクターには、C15型をおすすめします。F型コネクターの加工方法については、F型コネクターに付属の説明書をご覧ください。
● 地上デジタル放送はUHFアンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

衛星（BS・110度CS）放送について

● 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
● 本製品に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本製品のBS･CS110度アンテナ端子へ接続してください。

映像にしまが出たり、線上のノイズが出るとき

● アンテナ線へのノイズの影響が原因です。アンテナ接続部のシールドを強化することで、ノイズの影響を抑えられ、よりきれいな映像でご覧いただくことができます。詳しくは販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

● アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪いときは販売店にご相談ください。

アンテナの設置場所

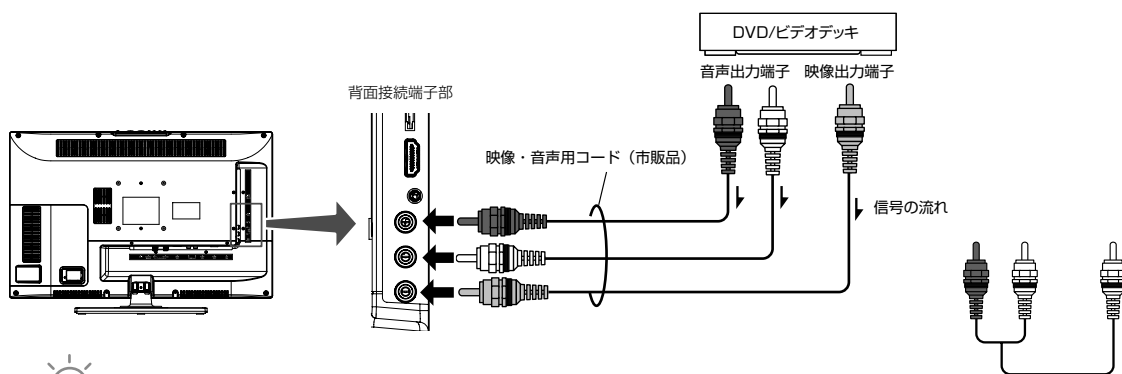
● きれいな映像でご覧いただくために、道路や線路、送電線から離れた場所にアンテナを設置してください。また、ネオンサインも大きなノイズを発生しますので注意が必要です。

外部機器の接続

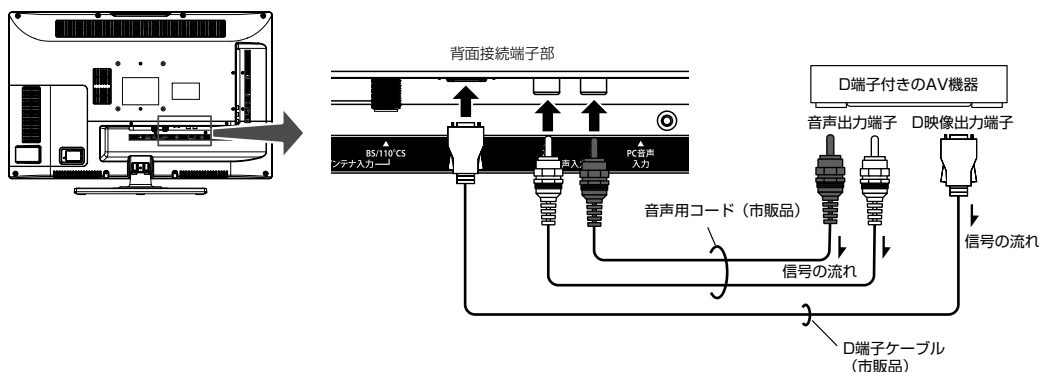
本機に、DVD プレーヤー、HDD レコーダー、ビデオカメラなどの AV 機器やゲーム機、パソコンなどを接続してお使いになれます。

ご注意

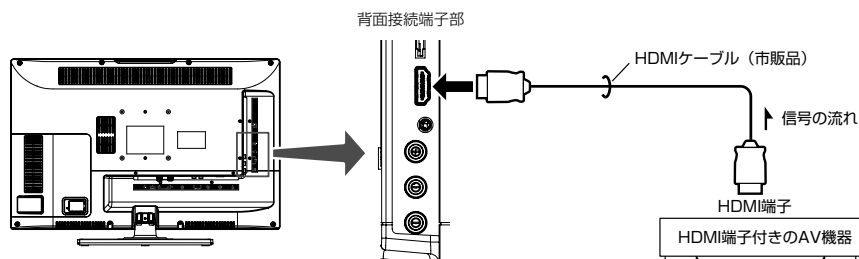
- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 雑音や映像ノイズなどの原因となりますので、プラグは端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- AV 機器をつないだ際に映像の乱れや雑音が発生するときは、各機器を十分に離してみてください。
- AV 機器によっては接続方法が本取扱説明書に記載されている方法と異なる場合があります。実際の接続では、接続する AV 機器の説明書も併せてお読みください。

映像・音声端子付き AV 機器の接続

お知らせ

- AV 機器の音声端子がモノラルの場合、図のような片側 1 ⇔片側 2 ピンプラグケーブルで接続してください。

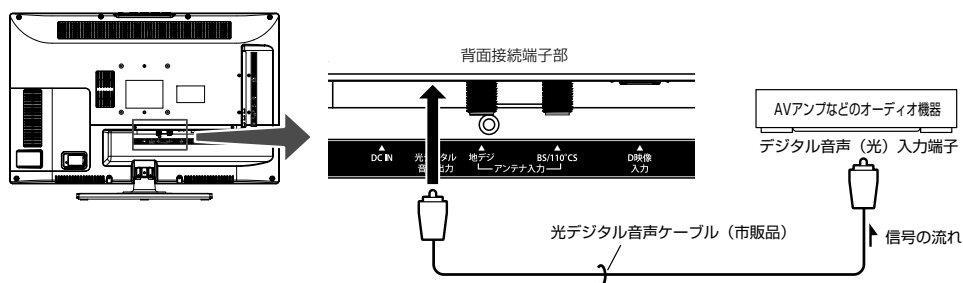
D 端子付き AV 機器の接続

お知らせ

- 本機の D 端子の規格は「D4」です。出力側の機器に D 映像端子と HDMI 端子があるときは、HDMI 端子で接続してください。接続が簡単で、より高精細な映像をお楽しみいただけます。
- 接続機器によっては、出力を D 端子に設定しなければ信号を出力しないものがあります。映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧いただき、設定してください。

HDMI 端子付き AV 機器の接続

お知らせ

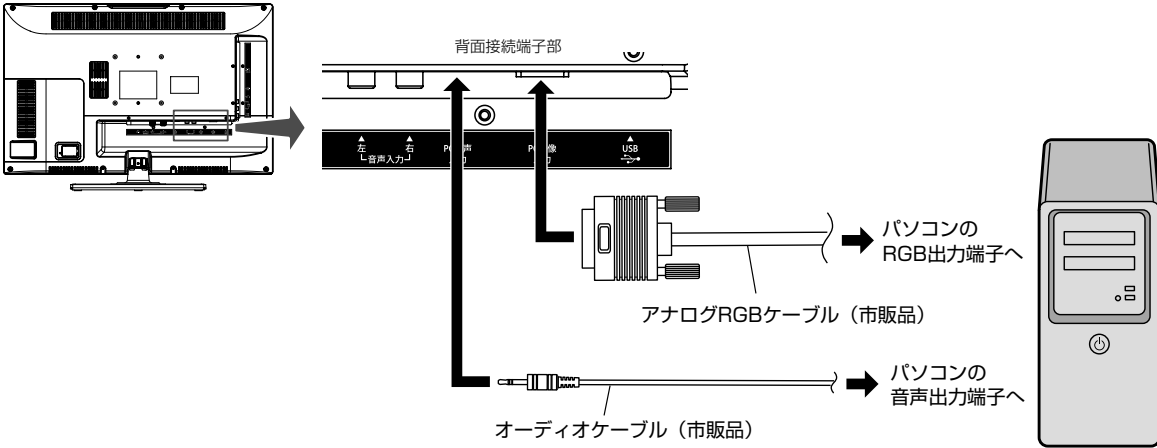
- HDMI 端子は、ハイビジョンの高画質映像と音声を、1 本のケーブルでデジタルのまま伝送します。出力側の機器に HDMI 端子と D 端子があるときは、HDMI 端子で接続してください。
- HDMI 入力へ切り換える際は、本機内部のチップ処理の関係で数秒時間がかかります。
- 映像、音声が表示、出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。
- パソコンとの HDMI ケーブルを使った接続は対応しておりません。パソコンと接続の場合には、ミニ D-Sub15 ピンをお使いください。

オーディオアンプなどの接続

デジタル放送のデジタル音声（5.1 チャンネルサラウンドなど）をダイレクトにデジタル音声のまま出力することができます。AV アンプなどのデジタル音声（光）入力端子に接続すると、サラウンド音声を迫力のある音で楽しめます。

お知らせ

- 光デジタル音声出力は PCM 形式に対応しています。
  接続される AV アンプなどのオーディオ機器に応じて出力形式を設定してください。(☞ 49 ページ)

パソコンの接続

本機は､VGA(ミニ D-Sub15 ピン) 端子を搭載しています。パソコン側の VGA 端子とアナログ RGB ケーブルを使って接続します。
パソコンの音声は、オーディオケーブル（ステレオミニジャック）で本機の PC 音声入力端子に接続します。

お知らせ

- すべてのパソコンでの動作検証は行っておりません。（Macintosh など、Windows 2000/XP/Vista/7 以外の動作は検証しておりません。）
  また、パソコンのビデオカードなどによっては、表示できない場合があります。

USB ハードディスクの接続

市販の USB ハードディスクを本機へ接続することで、デジタル放送番組の録画ができます。USB ハードディスクの接続、録画については、別冊の 録画編 を参照ください。

B-CAS（ビーキャス）カードをセットする

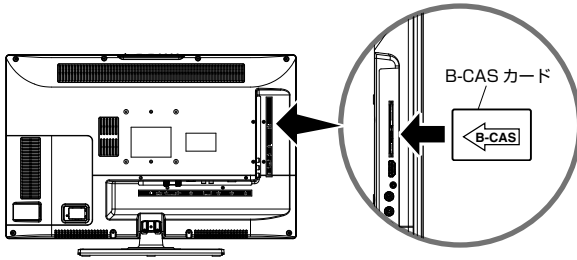
必ず付属の B-CAS カードをセットしてください。B-CAS カードをセットしないと、デジタル放送をご覧になれません。B-CAS カードは、デジタル放送に必要な情報を書き込むためのカードです。お客さまの個人情報は書き込まれません。

1 台紙から B-CAS カードをはがす

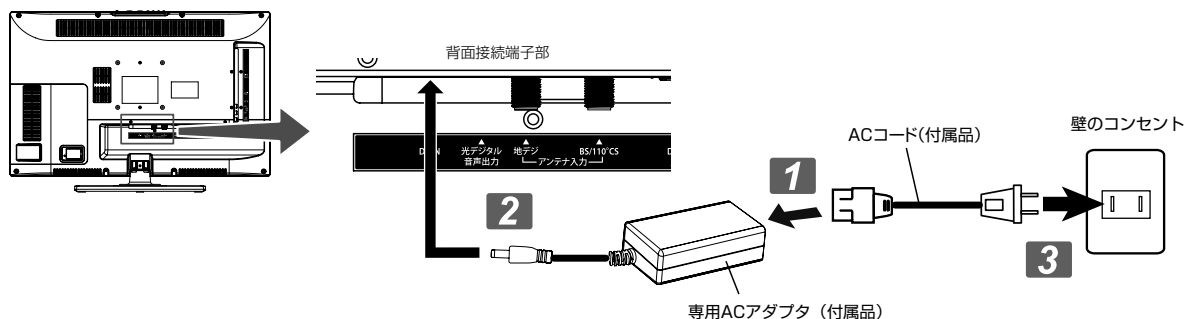
同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をよくお読みください。

2 B-CAS カードを挿入する

B-CASカード挿入口は、左側面部にあります。B-CASカードを下図の向きにして、奥まで差し込んでください。

ご注意

- B-CAS カードを装着する際は、カードを水平にして斜めにならないように挿入してください。
- セットした B-CAS カードは、抜かずにご使用ください。
- B-CAS カードを傷つけたり濡らしたりしないでください。IC 回路が損傷すると、デジタル放送を受信できません。
- B-CAS カードの金属部（集積回路）には触れないでください。

AC コードの接続

●AC コードは、後で抜き差しがしやすい場所にあるコンセントをご使用ください。

1 専用 AC アダプタへ AC コードを接続する

2 専用 AC アダプタのコードを本機の DC 電源入力端子へ接続する

3 コンセントへ AC コードを差し込む

電源インジケータが赤色点灯になります。

付属の AC コード / 専用 AC アダプタ以外は使用できません。火災・感電・電波妨害の原因になります。また付属の AC コードは本機専用のため、他の機器には使用できません。

お知らせ

● お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を自動的に更新する場合があります。ソフトウェアの更新は、デジタル放送波にソフトウェア信号を載せて送信しますので、AC コードがコンセントへ接続された状態にしておく必要があります。長期間ご使用にならないとき以外は AC コードを抜かないようにしてください。

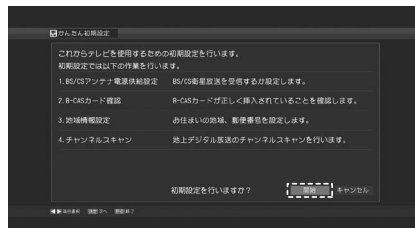
テレビを見るためのかんたん初期設定をする

本機をはじめて使用する際に、テレビ放送を視聴できるようにするための初期設定を行います。
ご購入後、はじめて電源を入れたときや、設定の初期化を行った際にかんたん初期設定画面が表示されます。

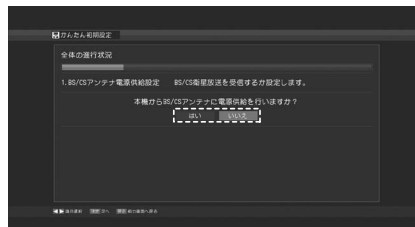
ご注意

- B-CAS カードが挿入されていないと初期設定ができません。あらかじめ確認してください。(☞ 20 ページ)

かんたん初期設定をする

1 [開始] が選択されていることを確認し、決定を押す

1. BS/CS アンテナ電源供給設定画面が表示されます。

2 ◀ ▶ で [はい]［いいえ］を選択し、決定を押す

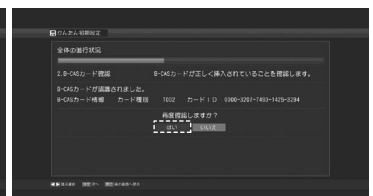
[はい]：BS/CS アンテナに電源供給をする時に選択します。
[いいえ]：BS/CS アンテナに電源供給をしない時に選択します。

2. B-CAS カード確認画面が表示されます。

3 B-CAS カードが認識されました。と表示されることを確認し、◀ ▶ で [いいえ] を選択し、決定を押す

B-CAS カードが見つかりません。と表示された際は、B-CAS カードの挿入を確認し、再度確認を行ってください。

3. 地域情報設定画面が表示されます。

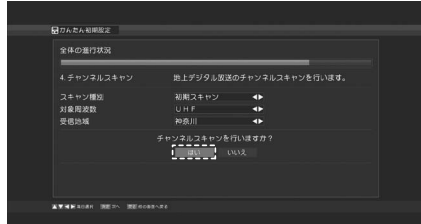
お知らせ

- マンションなどの集合住宅では、ブースターや電源供給器などで常時 BS/CS アンテナへ電源を供給している場合があります。このような場合は、BS/CS アンテナ電源供給設定は［いいえ］にしてください。
  電源供給の有無が分からない場合は、まず［いいえ］を選択し、BS/CS 番組が映らない場合に再度 BS/CS アンテナ電源供給設定画面から［はい］を選択・設定してください。
- BS/CS アンテナから直接テレビへ接続している場合は、BS/CS アンテナ電源供給設定を［はい］にしてください。

4 ◀ ▶ でお住まいの地域を選択し、 1 ～ 10/0 でお住まいの地域の郵便番号を入力する

▲ ▼ で［はい］を選択し、決定を押す

▼ でカーソルを移動させます。

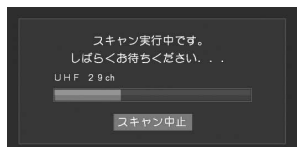
4. チャンネルスキャン画面が表示されます。

5 ◀ ▶ で［対象周波数］、［受信地域］を選択する

▼ でカーソルを移動させます。

■ **対象周波数**

CATV を受信する際は、「全周波数」を選択します。

6 ▲ ▼ で [はい] を選択し、決定を押す

チャンネルスキャンが開始されます。

スキャン実行中に 決定 を押すとスキャンを中止します。

7 ◀ ▶ でスキャン結果を保存しますか？ [はい] を選択し、決定 を押す

8 ◀ ▶ で [はい] を選択し、決定を押す

チャンネルスキャンした先頭チャンネルの番組が表示されます。

デジタル放送のチャンネルを追加・再設定する

ご注意

- お住まいの地域の放送をスキャンして、自動的にリモコンチャンネル番号に放送局（受信チャンネル）を割り当てます。
- CATV 放送を受信するには、別途ケーブルテレビ会社との契約が必要です。
  また、スクランブルのかかった有料チャンネルの視聴にはケーブルテレビ会社から支給されるケーブルテレビチューナーが必要です。
- リモコンのボタンに割り当てられたチャンネルは、変更することができます。
  「リモコンボタンのチャンネルを変更する－リモコン設定」（☞ 26 ページ）をご覧ください。

デジタル放送のチャンネル設定－チャンネルスキャン

1 地上D を押して、地上デジタル放送に切り換える

2 メニュー を押す

メインメニューが表示されます。

3 ◀ ▶ で [チャンネル設定] を選び、決定を押す

▲ ▼で [チャンネルスキャン] を選び、決定を押す

チャンネルスキャンメニューが表示されます。

▼ でカーソルを移動させます。

4 ◀ ▶ ▲ ▼で [スキャン種別]・[対象周波数]・[受信地域] を選択する

■ スキャン種別

初期スキャン：受信地域が変更になったときに行います。

再スキャン：受信チャンネルの追加・変更があったときに行います。（受信地域は選択できません。）

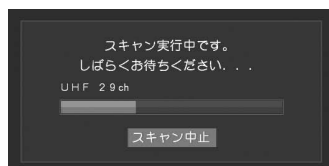
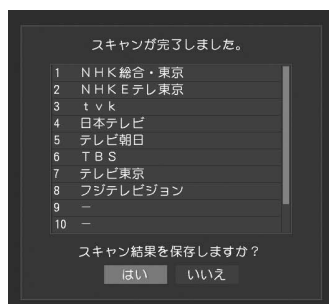
■ 対象周波数

CATV を受信する際は、「全周波数」を選択します。

お知らせ

- 受信チャンネルのスキャン終了時、受信されない放送局がある場合は、アンテナ線の接続や B-CAS カードの有無、アンテナの位置、地上デジタル放送の受信エリアなどの確認を行ってください。ひとつでも不備があると正常に受信できない場合があります。

5 ▲ ▼ で [スキャン実行] を選択し、決定を押す

チャンネルスキャンを開始します。チャンネルスキャン中に 決定 を押すと、チャンネルスキャンを中止します。

6 チャンネルスキャンが終了すると「スキャンが完了しました」と表示し、スキャン結果を表示する

7 ◀ ▶ でスキャン結果を保存しますか？ [はい] を選択し、決定を押す

BS 放送・CS 放送は 2011 年 10 月 1 日時点のチャンネルリストが登録されています。チャンネルリストの変更情報は、自動的に反映されますので、設定は不要です。

デジタル放送のチャンネルを追加・再設定する（つづき）

リモコンボタンのチャンネルを変更する－リモコン設定

自動的に割り当てられた受信チャンネルを、使いやすいようにリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。

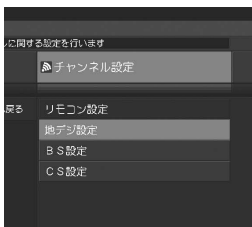
お知らせ

- ワンタッチボタンに割り当てられた受信チャンネルをスキップするときは、◀ ▶ ボタンでスキップ欄の［スキップ］を選択してください。
- リモコンチャンネルに割り当てられるのは最大 12 局までです。

1 メニュー を押す

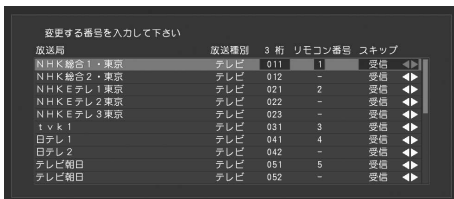
メインメニューが表示されます。

2 ◀ ▶ で [チャンネル設定] を選択し、決定を押す
▲ ▼ で [リモコン設定] を選択し、決定を押す

リモコン設定メニューが表示されます。

3 ▲ ▼ で [地デジ設定] または [BS 設定] または [CS 設定] を選択し、決定を押す

リモコン設定編集画面が表示されます。

変更する番号を入力して下さい

放送局	放送種別	3 桁	リモコン番号	スキップ
ＮＨＫ総合１・東京	テレビ	011	1	受信
ＮＨＫ総合２・東京	テレビ	012	–	受信
ＮＨＫＥテレ１東京	テレビ	021	2	受信
ＮＨＫＥテレ２東京	テレビ	022	–	受信
ＮＨＫＥテレ３東京	テレビ	023	–	受信
ｔｖｋ１	テレビ	031	3	受信
日テレ１	テレビ	041	4	受信
日テレ２	テレビ	042	–	受信
テレビ朝日	テレビ	051	5	受信
テレビ朝日	テレビ	052	–	受信

4 ▲ ▼ で設定を変更したい放送局を選択し、1 ～ 12 でリモコン番号を選択する

同じリモコン番号を複数の放送局に登録することはできません。

5 リモコン設定編集が完了したら、決定 を押す

リモコン設定メニューに戻ります。

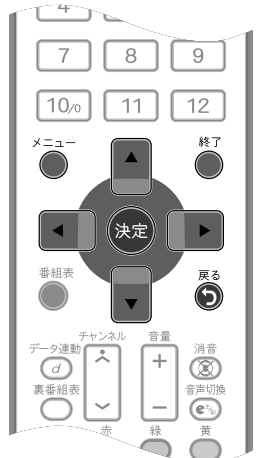
6 リモコンボタンの割り当ては、放送波ごとに登録できます。

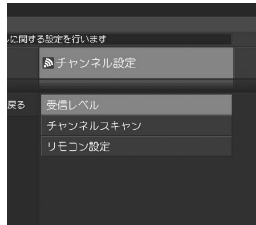
手順 3 で [放送種別] を選択し、手順 4 ～ 5 で割り当てるチャンネルを決定してください。

デジタル放送のアンテナレベルの確認－受信レベル

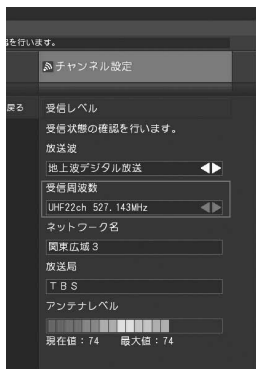
視聴チャンネルのアンテナ受信状況を確認します。

1 メニュー を押す

メインメニューが表示されます。

2 ◀ ▶ で [チャンネル設定] を選択し、決定を押す
▲ ▼ で [受信レベル] を選択し、決定を押す

受信レベルメニューが表示されます。

3 ▲ ▼ で [放送波] へカーソルを移動し、◀ ▶ で受信レベルを確認したい、放送波を選択する

4 ▲ ▼ で［受信周波数］へカーソルを移動し、◀ ▶ で放送局を選択する

ネットワーク名、放送局、アンテナレベルが表示されます。
放送波・受信周波数の選択を変更することで、他チャンネルや BS/CS チャンネルの受信レベルも確認できます。
※ BS/CS チャンネルは、放送局が周波数を共有していることがありますので、「放送局」欄で全ての放送局を選択できるものではありません。

5 アンテナレベルの最大値が高くなるか、現在値がそれに近い値になるようにアンテナの位置や向きを変える

ご注意

- 天候が悪いときなどは、受信レベルが低くなります。
- 推奨アンテナレベルは、60 以上です。
  現在値が 60 以下の場合は、映像にブロックノイズが発生したり、映像の途切れ、音声の途切れが発生します。天候による影響も発生しやすくなるため、現在値が 60 以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
- アンテナレベル画面の受信周波数番号は、物理チャンネル番号を表示します。実際の放送局の番号と異なりますのでご注意ください。

テレビを見る

テレビを見る前に以下の点をご確認ください。
・アンテナは接続されていますか？（☞ 15 ページ）
・B-CAS カードはセットしていますか？（☞ 20 ページ）
・チャンネル設定はされていますか？（☞ 22 ～ 25 ページ）

テレビを見る

1 地上D BS CS を押して、放送を選ぶ

地上D：地上デジタル放送に切り換えます。
BS：BS デジタル放送に切り換えます。
CS：CS デジタル放送に切り換えます。

2 チャンネルを選ぶ

画面上にチャンネル番号が表示されます。

■ワンタッチボタンでチャンネルを選ぶ

1～12 を押します。

■順送りでチャンネルを選ぶ

チャンネル を押して選びます。

■３桁チャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ

① 3桁入力 を押します。
② 1 ～ 10/0 を押して、チャンネル番号を入力します。

3 音量 ＋ － を押して音量を調節する

ご注意

● 予約録画中の番組視聴について：
予約番組の録画中は、同じデジタル放送波の別チャンネルを視聴することはできません。
「予約録画中の番組視聴について」（別冊 録画編 ☞ 4 ページ）

お知らせ

● チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合があります。これは、映像信号の変換などに時間がかかるためで、故障ではありません。
● 放送局番号と物理チャンネル
デジタル放送では 1 つのチャンネルで最大 3 つの番組を放送できます。このため、チャンネルを指定しただけではどの番組を見るのか特定できません。そこで、3 桁の放送局番号によって番組を特定できるようになっています。最初の 2 桁が放送局を示し、最後の 1 桁でそのチャンネルのどの番組かを指定します。
また、今までの UHF 帯のチャンネル番号をこの放送局番号と区別するために「物理チャンネル」と呼んでいます。

ビデオや DVD を楽しむ－入力切換

1 入力ソースを選択する

ボタン	説明
地上D	地上デジタル放送に切り換えます。
BS	BS デジタル放送に切り換えます。
CS	CS デジタル放送に切り換えます。
ビデオ（Video）	映像入力 (映像 / 音声) に切り換えます。
D端子	D 入力 (D 映像 /D 端子音声) に切り換えます。
HDMI	HDMI 入力に切り換えます。
パソコン（PC）	PC(映像)/PC(音声) 入力に切り換えます。

● 接続されていない入力を選ぶと、「接続されていないため切換できません。」と表示されます。

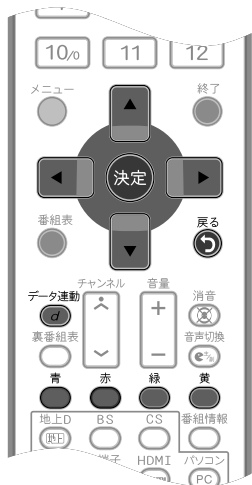
お知らせ

■入力切換時のご注意

● 地上デジタル放送から BS デジタル放送へ切り換わるときなどに、入力信号に合わせて本機内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつくことがありますが故障ではありません。
● 入力を切り換える際は、本機内部のチップ処理の関係で数秒時間がかかります。
● パソコンが接続されていない状態でパソコンを選択すると、" 映像信号がありません。入力端子を確認してください。" と表示します。

■外部入力の画面表示について

● 本体上面の入力切換ボタンにて外部入力を変更する際の外部入力ソース名は変更することができます。接続した機器などの使い慣れた名称に変更することで、入力ソースを選択しやすくなります。
（名称の変更は、機器設定 - 外部入力表示設定（☞ 48 ページ）を参照ください。）

データ放送を楽しむ－データ連動

1 デジタル放送を視聴中に データ連動 (d) を押す

ニュースや天気予報などの便利な情報や番組の情報など各放送局に関連したデータ放送を表示します。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ で見たい項目を選択し、決定 を押す

番組によってはカラーボタンを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。

● データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。
● データ連動 (d) を押すと、データ放送を終了します。

お知らせ

● 本機は LAN、DLNA 機能を備えていません。データ放送による双方向通信はできませんので、ご注意ください。
● データ連動の情報取得（ダウンロード）するには、多少時間がかかります。(情報が多いとき、起動時のデータ取得時などは表示に時間がかかる場合があります。)

字幕を表示する－字幕

1 デジタル放送視聴中に 字幕 を押す

字幕 を押すたびに、[字幕オフ] → [字幕 日本語] → [字幕 英語] → [字幕オフ]･･･ が切り換わります。

ご注意

● 放送中の番組に字幕が含まれている場合にのみ有効です。

視聴番組の情報を表示するー画面表示

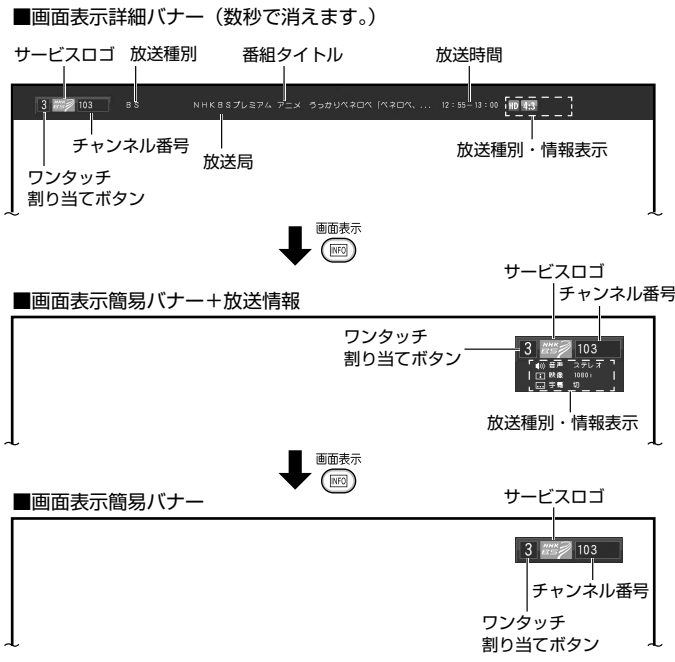
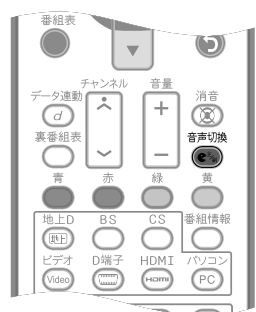
1 画面表示(INFO) を押して、視聴中のチャンネル情報や設定情報を表示する

画面表示(INFO) を、押すたびにバナー画面表示が変わります。

◆サービスロゴについて

サービスロゴが更新されている場合は、電源オフ時に 10 分周期でダウンロードを行い、次回表示時に更新します。

◆番組タイトルのマーク例

- 再 再放送の番組です。
- S ステレオ音声の番組です。
- SS サラウンドステレオ音声の番組です。
- 解 副音声を使って解説をおこなっている番組です。
- 二 2重音声放送の番組です。
- 字 字幕表示ができる番組です。
- デ データ放送対応番組です。

音声を切り換えるー音声切換

1 放送音声に応じて 音声切換 を押して、好みの音声を選ぶ

音声切換 を押すたびに、音声が切り換わります。
画面上に選択した音声が表示されます。

ご注意

- 番組の放送音声（音声解説 / 二ヶ国語 / ステレオ）によって選択できる音声が異なります。
  切り換えができない放送では、「切り換えられる音声がありません。」と表示されます。

映像を好みで切り換えるー映像切換

視聴中のデジタル放送で複数の映像（マルチビューなど）があるときに切り換えます。

1 映像切換 を押して、映像を切り換える

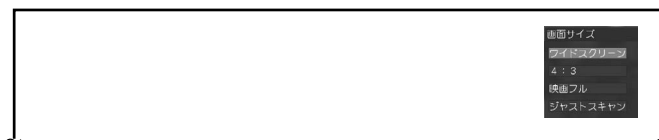
複数の映像があるときのみ有効です。

画面モードを切り換えるー画面モード

テレビの画面モード（画面の縦横比）を、リモコンのボタンで簡単に切り換えることができます。

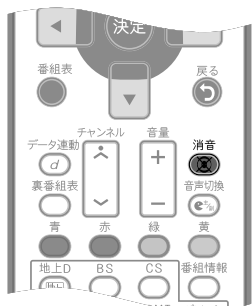
1 画面モード を押して、好みの画面モードを選ぶ

画面に選択した画面モードが表示されます。
画面モード を押すたびに、画面モードが切り換わります。
切り換えのできない画面モードはグレーアウトして、選択することはできません。

■画面モード表示

● 選択できる画面モードは、放送番組・入力によって異なります。

画面モード	詳細
ワイドスクリーン	4:3 映像を画面いっぱいに拡大表示します。入力信号によっては映像が左右に引き伸ばされます。
4：3	4:3 映像をそのまま表示します。画面の左右に黒い部分ができます。
映像フル	シネスコまたは、16:9 サイズの映画ソフトを画面いっぱいに表示します。
ジャストスキャン	入力信号どおりの映像を表示します。映像の左右が縮小されて、画面の左右に黒い部分がでる場合があります。

音を一時的に消すー消音

リモコンのボタンを押すだけで、音声を消すことができます。

1 消音 を押して、消音モードにする

画面に消音アイコンが表示されます。

消音 を、もう一度押すと元の音量に戻ります。

お知らせ

電話や来客時などに便利

● 電話や急な来客時など、ボタンを押すだけですばやく消音できます。用事が終わったら、ボタンを押すだけですばやく元の音量に戻せます。

自動的にテレビの電源を切るーオフタイマー

一定時間が経過すると自動的に電源をオフにします。寝るときなどに電源の切り忘れを防ぎ、省エネに役立ちます。

1 オフタイマー で電源をオフにするまでの時間 (単位 : 分) を選ぶ

オフ ⇒ 30 分 ⇒ 60 分 ⇒ 120 分 ⇒ 180 分 ⇒ オフ…から選択します。
オフタイマーの設定を解除するときは「オフ」を選びます。

自動的にテレビの電源を入れるーオンタイマー

設定時間に自動的に電源をオンにします。テレビを目覚ましとして使うこともできます。

1 オンタイマー を押すと、メインメニューの［機器設定］-［オンタイマー設定］画面が表示する

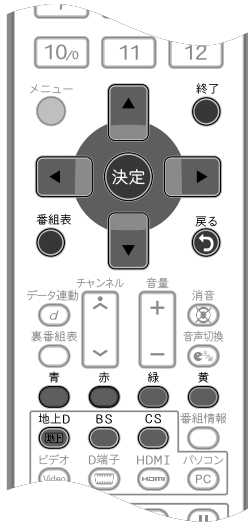
2 ◀ ▶ で［はい］を選択し、▼ でカーソルを移動して各項目を設定する

電源をオンにする時間、表示する表示ソース、チャンネル、音量を設定します。
設定後、決定 を押します。

オンタイマー設定を解除するには“オンタイマーを使用しますか？”で［いいえ］を選択し、決定 を押します。

見たい番組を探す

デジタル放送では、番組表や番組の詳細情報を表示することができます。

電子番組表を表示するー 番組表

1 デジタル放送視聴中に 番組表 を押す

現在時間の番組と以降に放送する番組表を表示します。
リモコンボタンの操作ガイドに従い、操作してください。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ で番組を選択し、決定 を押す

番組情報画面が表示されます。

■放送中の番組を選択した場合

番組情報画面から、

録画予約：選択した番組を録画予約します。

（別冊 録画編 ☞ 10 ページ）

■これから放送される番組を選択した場合

番組情報画面から、

視聴予約：選択した番組を視聴予約します。（☞ 36 ページ）

録画予約：選択した番組を録画予約します。

（別冊 録画編 ☞ 10 ページ）

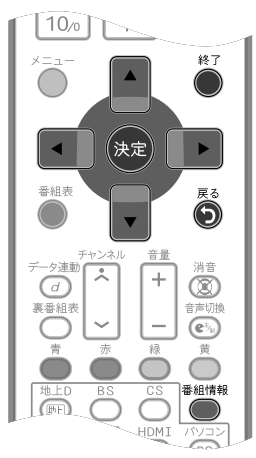
■番組表の表示を変える

番組表画面で、黄 を押すと、カーソルを置いたチャンネルがマルチチャンネル表示に切り換わります。

お知らせ

- 番組表を取得するには、多少時間がかかる場合があります。
- 短い時間のニュース番組などは、番組表上で表示されない場合がありますが、番組を選択すると、番組内容が表示されます。
- 購入後、はじめて番組表を表示した際は、番組表データが取得できていないため、すべての番組表は表示されませんが故障ではありません。
- 電源をオンした直後はデータ更新などの処理を行うため、番組表やメインメニューをすぐに表示させることができませんが故障ではありません。

番組の説明を表示する－番組情報

現在視聴中または、番組表で選択した番組の詳細情報を表示します。

1 デジタル放送視聴中に、番組情報 を押す

番組表表示中は番組を選択し、決定 を押すと番組情報を表示します。
リモコンボタンの操作ガイドに従い、操作してください。

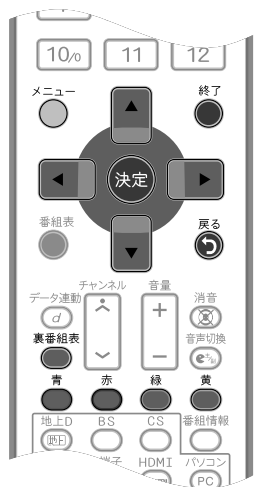
お知らせ

● 番組情報を取得するには、多少時間がかかります。

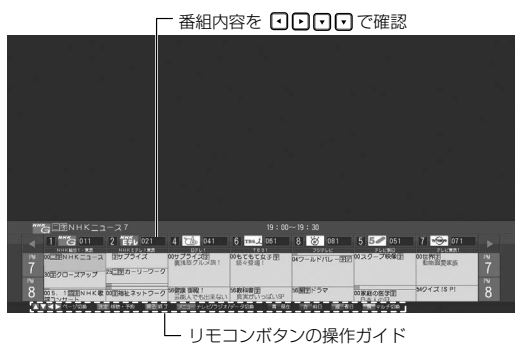
● 画面内のボタン説明

ボタン	説明
視聴予約	番組を視聴予約します。（これから放送される番組の場合）（☞ 36 ページ）
録画予約	番組を録画予約します。 （別冊 録画編 ☞ 10 ページ）

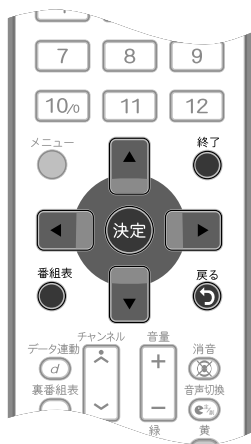
番組を見ながら他の番組を探す－裏番組表

現在放送中の番組を視聴しながら、他チャンネルの番組表を確認することができます。

1 デジタル放送視聴中に、裏番組表 を押す

画面下側に番組表が表示されます。

◀ ▶ ▲ ▼ で番組内容を確認します。
リモコンボタンの操作ガイドに従い、操作してください。

番組を視聴予約する

ご覧になりたい放送予定の番組を視聴予約して、放送時刻に自動的に番組を切り換えることができます。

番組表から視聴予約する

1 デジタル放送視聴中に [番組表] を押す

番組表を表示します。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ で視聴したい番組を選択し、[決定]を押す

番組情報が表示されます。
リモコンボタンの操作ガイドに従い、操作してください。

3 ◀ ▶ で［視聴予約］を選択し、[決定]を押す

視聴予約画面が表示されます。
必要に応じて、予約日、開始時間、終了時間を変更します。

4 ［詳細設定］を選択し、[決定]を押す

視聴予約の詳細設定ができます。（☞ 37 ページ）

5 ［登録］を選択し、[決定]を押す

以上で視聴予約が完了です。番組表に視聴予約アイコンが表示されます。

お知らせ

● 見るだけ予約した番組がペイ・パー・ビューの有料放送の場合、購入するかの確認画面が表示されます。

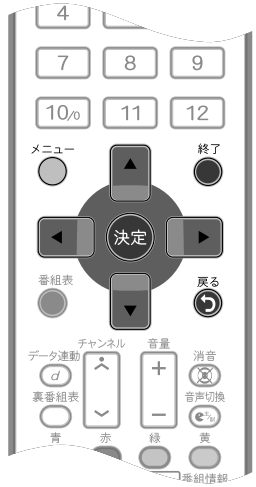
お知らせ

視聴予約時間に重複した番組があるときは、確認画面が表示します。［はい］を選択すると、予約一覧画面が開きます。重複した予約番組を［選択］すると表示中の番組予約の削除確認画面が表示されます。［はい］を選択すると表示中の予約が削除され、新たに予約を登録することができます。

視聴予約の詳細設定

視聴予約の詳細設定をします。

1 視聴予約画面で、[詳細設定] を選択し、決定を押す

予約詳細設定画面が表示されます。
視聴に関する詳細設定をすることができます。
リモコンボタンの操作ガイドに従い、操作してください。

詳細設定	説明
優先度	ふつう⇔低い⇔高いから選択します。
繰り返し	連続ドラマなど同じ時間帯に繰り返し放送される番組を視聴予約できます。
番組追従	番組の放送時間が変更された場合など、番組の放送時間に合わせて視聴時間を変更します。

視聴予約詳細設定の「優先度」「番組追従」に関する詳細は、☞ 38 ページをご覧ください。

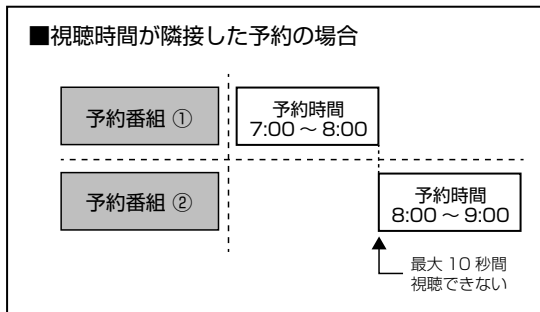
2 [登録] を選択し、決定を押す

視聴予約画面に戻ります。(☞ 36 ページ)

ご注意

● 視聴予約の［番組追従］機能について：
［番組追従］機能は、デジタル放送波の番組情報から ID 番号を取得し、視聴予約した番組の放送時間が変更された場合でも、自動的に視聴予約時間を変更します。
視聴予約したチャンネル以外のチャンネルを視聴している場合は、視聴予約したチャンネルの番組情報を取得できず、［番組追従］機能が働きませんのでご注意ください。
「視聴予約の番組追従について」(☞ 38 ページ)をご覧ください。

予約時間が隣接している場合の視聴について

視聴予約時間が隣接している場合は、内部処理の関係で隣接した時間で最大 10 秒間視聴できません。
視聴できない番組は、視聴開始時間や［優先度］の設定に応じて変わりますのでご注意ください。

■優先度が同じ設定の場合

- 予約視聴が実行されている番組の視聴時間を優先します
  予約番組②の冒頭映像が最大 10 秒間視聴できません。

■予約番組②の優先度が高い設定の場合

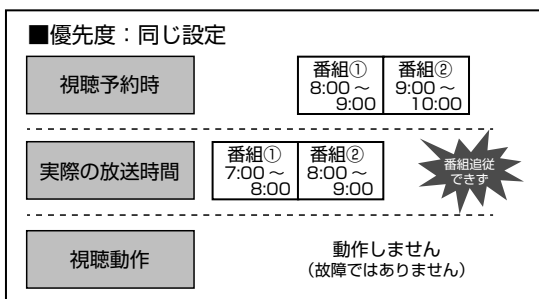
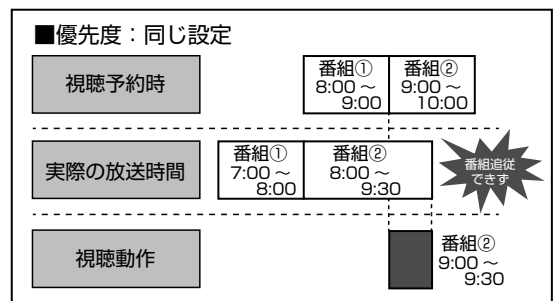
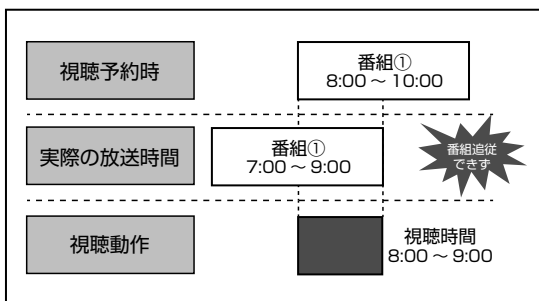
- 優先度の高い予約番組の視聴時間が優先されます。
  予約番組①の視聴時間末尾が最大 10 秒間視聴できません。

視聴予約の番組追従について

すべての放送番組には、ID 番号が付与されています。［番組追従］機能は、デジタル放送波の番組情報から ID 番号を取得し、視聴予約した番組の放送時間が変更された場合でも、自動的に視聴予約時間を変更します。
視聴予約したチャンネル以外のチャンネルを視聴している場合は、視聴予約したチャンネルの番組情報を取得できず、［番組追従］機能が働きませんのでご注意ください。

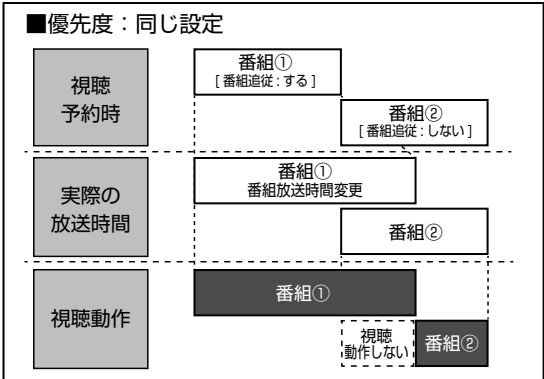
■番組情報の取得タイミング

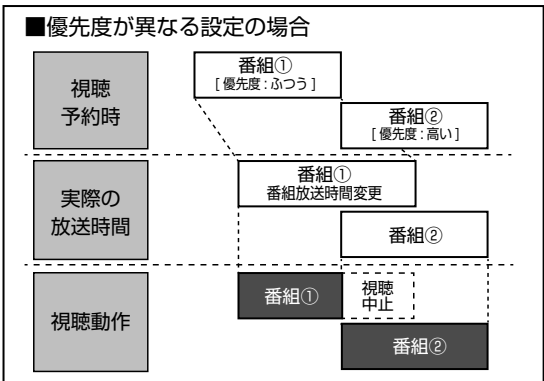
①視聴しているチャンネル：随時番組情報を取得、②電源オフ時：すべてのチャンネルの番組情報を取得、
③毎日 0 時 30 分：すべてのチャンネルの番組情報を取得、④視聴予約時間の１０分前：内部的に待機モードに切り換わり予約チャンネルの番組情報を取得しています。
0 時 30 分以降に番組放送時間が変更になった場合、視聴予約時間よりも前倒しされた番組については、番組追従が行なわれない場合があります。

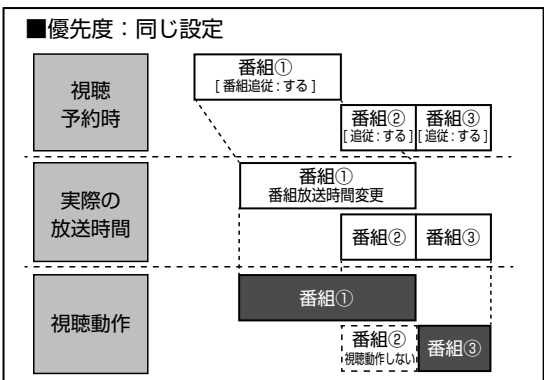
■番組追従［する］設定が機能しない場合の視聴結果例

- 番組追従を「しない」に設定した場合や、視聴予約画面で開始時間と終了時間を指定した場合は時間予約となり、予約した時間をそのまま視聴します。（予約番組の放送時間が変更になると、異なる番組を視聴することがあります。）

優先度設定と番組追従設定での視聴について

予約詳細設定画面の［優先度］は、視聴予約した番組の放送時間が変更になり、他の予約番組と重なったときの視聴の優先度です。［優先度］［番組追従］の設定に応じて視聴できない場合がありますのでご注意ください。

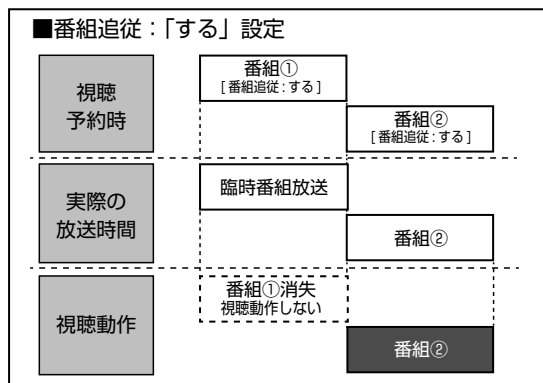
■番組追従を「する」に設定した予約番組と「しない」に設定した予約番組が重なった場合

● 番組追従を「する」に設定した番組の視聴が優先されます。
番組①の放送時間が変更された場合、番組②の重なった時間については、視聴できません。

■優先度の異なる複数予約番組が重なった場合（番組追従は「する」設定）

● 優先度の高い予約番組の視聴が優先されます。
番組①の放送時間が変更された場合でも、番組②の優先度が高いため、番組①の視聴を中止し、番組②の視聴を実行します。

■番組追従を「する」に設定した複数予約番組が重なった場合（優先度は同じ設定）

● 予約視聴が先に実行されている番組の視聴を優先して番組終了まで視聴します。
番組①の放送時間が変更された場合、番組①の視聴を優先し、番組②は視聴できません。
番組③は、番組①が終了次第、視聴を開始します。

その他留意点

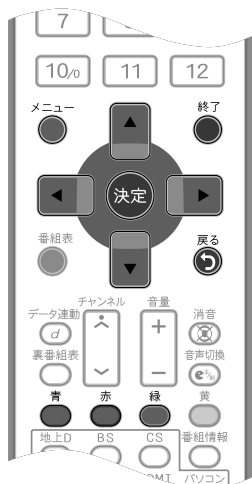
■予約視聴番組の消失について

番組追従を「する」に設定した予約番組が緊急番組などで番組編成が変更となり、予約した番組の放送がされない場合は番組 ID の取得ができず、予約情報が消失され視聴動作されません。

● 番組追従を「しない」に設定した場合は、予約した時間に放送される臨時番組放送を視聴します。

■繰り返し視聴予約時の番組追従について

予約詳細設定画面で、繰り返し予約を設定した番組で番組追従を「する」にした場合、視聴開始設定時間の前後３時間まで番組変更を追従します。

視聴予約の確認・取消しをする－視聴予約一覧

視聴予約した番組と番組の詳細情報を確認することができます。

1 メニュー を押す

2 ◀ ▶ で［予約一覧］を選択し、決定を押す

予約一覧画面が表示されます。

3 青 を押し、視聴予約一覧を表示する

▲ ▼ で視聴予約番組を選択し、決定を押す

■視聴予約を全画面で表示する

・ 視聴予約一覧表示中に、緑 を押します。

■視聴予約の詳細を確認する

・ 視聴予約画面で［詳細設定］を選択し、決定を押します。
・ 予約詳細設定画面で確認します。

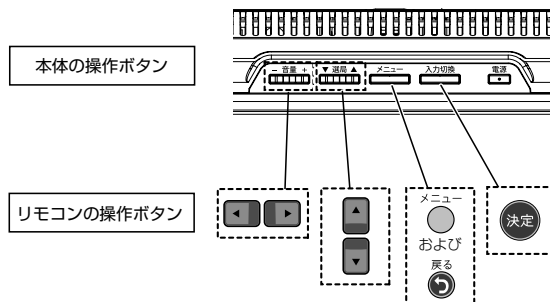
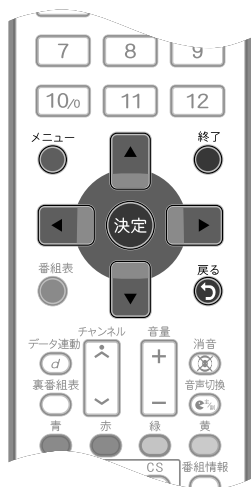
■視聴予約を取消す

・ 視聴予約画面で［削除］を選択し、決定を押します。

メインメニューについて

メインメニューの表示内容はテレビ放送や入力信号により一部異なります。テレビ放送や入力信号に対応しないメニュー項目は、操作することができません。

本体のボタンでメインメニューを操作する

本体の操作ボタンを使用して、メインメニューを操作することができます。
右図に示す本体の操作ボタンとリモコンの操作ボタンの対応を確認し、操作説明内のリモコンボタンに対応する本体のボタンで操作してください。

メインメニューを表示する

1 メニュー を押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ で設定するメニュー項目を選択する

画面右側にサブメニュー画面が表示されます。

▲ ▼ で項目を選択し、決定 を押すと、設定画面が表示されます。

3 設定が終わったら メニュー または 終了 を押し、メインメニューを終了する

戻る を押すとひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

- メインメニューは、約５分で表示が消えます。

メインメニューを使って各種設定をする

画質 / 音質設定－画質設定

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作・設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>映像モード</td><td>映像モードを 5 種類から選択します。「ユーザー設定」を選択すると、画質調整で設定した映像になります。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr>
<tr><td>標準</td><td>落ちついた雰囲気で楽しみたいとき</td></tr>
<tr><td>ダイナミック</td><td>明るく、迫力のある映像で楽しみたいとき</td></tr>
<tr><td>映画</td><td>映画を見るのに適した映像で楽しみたいとき</td></tr>
<tr><td>ゲーム</td><td>ゲームをするのに適した映像で楽しみたいとき</td></tr>
<tr><td>ユーザー設定</td><td>好みに合わせた映像を見たいとき</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>画質調整</td><td>お好みの画質に設定できます。設定された情報は「ユーザー設定」に登録されます。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr>
<tr><td>明るさ</td><td>映像の明るさを調整します。右ほど明るくなります。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>映像の階調を調整します。右ほどコントラストの高い映像になります。</td></tr>
<tr><td>色合い</td><td>映像の肌色などを調整します。右ほど緑調が強くなり、左ほど赤調が強くなります。</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td>映像の鮮明度を調整します。右ほど映像がシャープになり、左ほど映像がソフトになります。</td></tr>
<tr><td>カラー</td><td>映像の色の濃さ (彩度) を調整します。右ほど色が濃くなります。</td></tr>
<tr><td>バックライト</td><td>画面の明るさを調整します。右ほど明るくなります。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>初期設定に戻す</td><td>画質設定を出荷時の状態（購入時状態）に戻します。</td></tr>
</table>

画質 / 音質設定－音質設定

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作・設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>音声モード</td><td>音質モードを 5 種類から選択します。「ユーザー設定」を選択すると、音質調整で設定した音声になります。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr>
<tr><td>標準</td><td>低音から高音までフラットな標準音質モード</td></tr>
<tr><td>ドラマ</td><td>会話が聞きやすい音質モード</td></tr>
<tr><td>映画</td><td>低音とサラウンドをやや強めた臨場感のある音質モード</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td>低音と高音を強調し、メリハリのある音質モード</td></tr>
<tr><td>ユーザー設定</td><td>好みに合わせた音質モード</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>音質調整</td><td>お好みの音質に設定できます。設定された情報は「ユーザー設定」に登録されます。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳 細</th></tr>
<tr><td>スピーカー
バランス</td><td>左右のスピーカーの音声バランスを調整します。</td></tr>
<tr><td>高音</td><td>高音の出力を調整します。</td></tr>
<tr><td>低音</td><td>低音の出力を調整します。</td></tr>
<tr><td>サラウンド</td><td>オンにすると、重厚な低音に鮮明な音声再生が可能になります。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>初期設定に戻す</td><td>音質設定を出荷時の状態（購入時状態）に戻します。</td></tr>
</table>

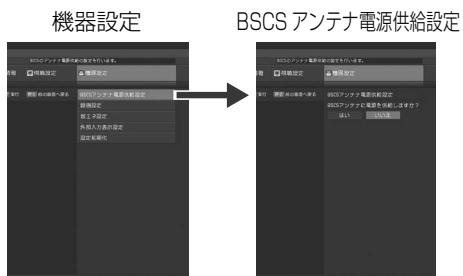
画質 / 音質設定－ PC 接続設定

※ PC 接続時のみ設定します。

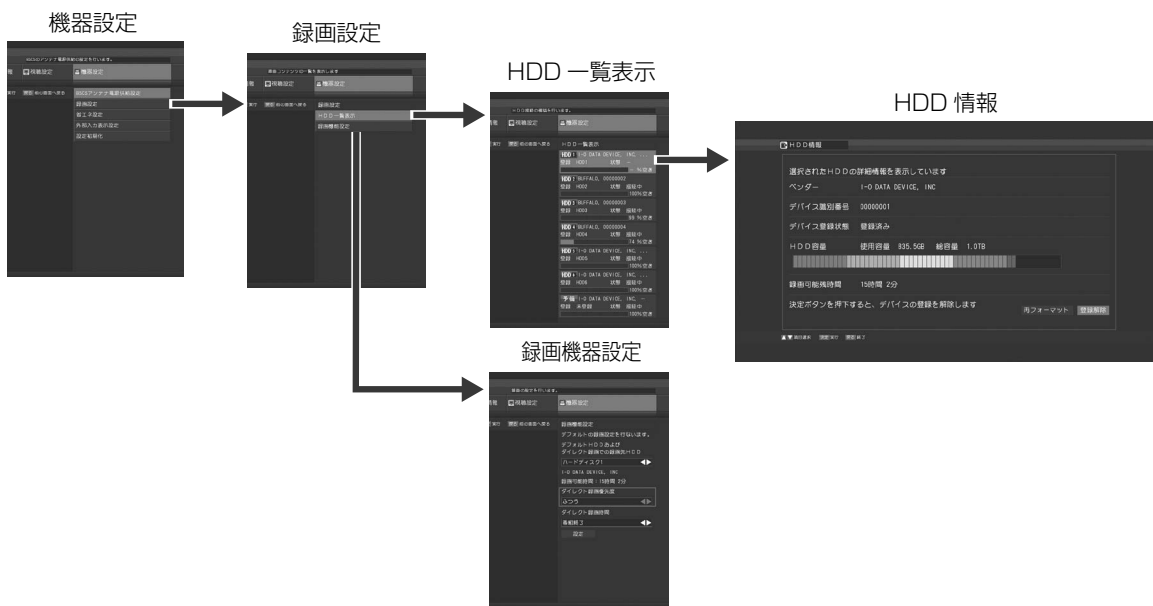
<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作・設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>PC 接続設定</td><td>PC 接続時の画面設定をします。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>自動設定</td><td>映像信号を自動で判別し、画面の水平位置、垂直位置、微調整、水平サイズの調整を自動的に行います。</td></tr>
<tr><td>手動設定</td><td>お好みに合わせた設定ができます。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>水平位置</td><td>画面の水平位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>垂直位置</td><td>画面の垂直位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>クロック</td><td>画面のクロック周波数を調整します。</td></tr>
<tr><td>サンプリング</td><td>画面のサンプリング周波数を調整します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

チャンネル設定

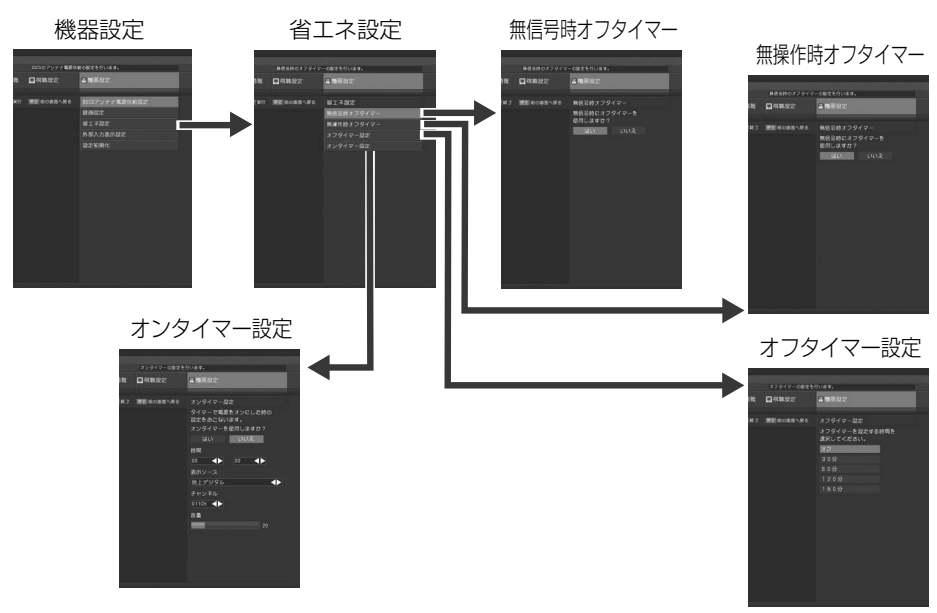
メニュー項目	操作・設定内容／設定値
受信レベル	デジタル放送のアンテナ受信感度を確認します。 「デジタル放送のアンテナレベルの確認－受信レベル」（☞ 27 ページ）
チャンネルスキャン	地上デジタル放送のチャンネルを設定します。 「デジタル放送のチャンネル設定－チャンネルスキャン」（☞ 24 ページ）
リモコン設定	チャンネルスキャンで割り当てられたチャンネル番号を変更します。 「リモコンボタンのチャンネルを変更する－リモコン設定」（☞ 26 ページ）

機器設定－ BSCS アンテナ電源供給設定

メニュー項目	操作・設定内容／設定値
BSCS アンテナ電源供給設定	BS および 110 度 CS アンテナへの電源供給設定を行います。

設 定	詳細
はい	アンテナへの電源供給（15V/4W）を行う
いいえ（初期値）	アンテナへの電源供給を行わない

機器設定－録画設定

メニュー項目	操作・設定内容／設定値
録画設定	USB ハードディスクの録画に関する設定を行います。

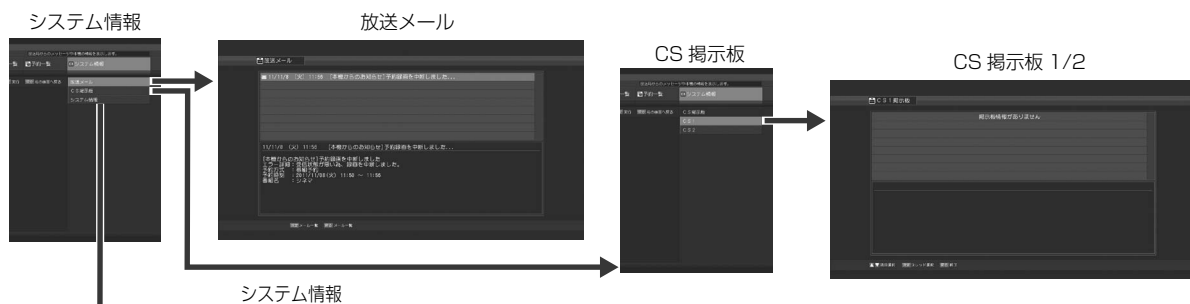
設 定	詳細
HDD 一覧表示	接続している USB ハードディスクを一覧で表示します。 （別冊 録画編 ☞ 19 ページ）
録画機器設定	USB ハードディスクを使用する前の録画設定を行います。 （別冊 録画編 ☞ 8 ページ）

機器設定－省エネ設定

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作・設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>無信号時オフタイマー</td><td>15 分間信号の入力が無いときに自動的に電源を切る設定をします。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>はい</td><td>無信号時に自動的に電源が切れます</td></tr>
<tr><td>いいえ</td><td>無信号時も電源を切りません</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>無操作時オフタイマー</td><td>テレビの操作を 3 時間行わないときに自動的に電源を切る設定をします。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>はい</td><td>3 時間操作を行わないときに自動的に電源が切れます</td></tr>
<tr><td>いいえ</td><td>電源を切りません</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>オフタイマー設定</td><td>選択した時間後に本機の電源を自動的にオフします。</td></tr>
<tr><td>オンタイマー設定</td><td>設定した時間に本機の電源を自動的にオンします。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>はい</td><td>電源をオンにする時間、表示ソース、チャンネル、音量を設定します。(☞ 33 ページ)</td></tr>
<tr><td>いいえ</td><td>オンタイマー機能を解除します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

機器設定－外部入力表示設定、設定初期化

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作・設定内容／設定値</th></tr>
<tr><td>外部入力表示設定</td><td>外部入力端子の表示名を変更することができます。
<table>
<tr><th>設 定</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>ビデオ</td><td>「ビデオ」「DVD」「レコーダー」「VTR」「CATV」「ゲーム」「チューナー」「PC」から選択します。</td></tr>
<tr><td>D 端子</td><td>「D 端子」「DVD」「レコーダー」「VTR」「CATV」「ゲーム」「チューナー」「PC」から選択します。</td></tr>
<tr><td>HDMI</td><td>「HDMI」「DVD」「レコーダー」「VTR」「CATV」「ゲーム」「チューナー」「PC」から選択します。</td></tr>
<tr><td>PC 入力</td><td>「PC 入力」「DVD」「レコーダー」「VTR」「CATV」「ゲーム」「チューナー」「PC」から選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>設定初期化</td><td>本機の全設定を出荷時の状態（購入時状態）に戻します。
すべての設定が消去されます。</td></tr>
</table>

視聴設定

メニュー項目	操作・設定内容／設定値
字幕表示設定	字幕の表示設定を行います。 設 定 / 詳細 表示しない：字幕を表示しない 日本語：字幕を「日本語」で表示する 英語：字幕を「英語」で表示する
文字スーパー	臨時ニュースなどの文字スーパー表示設定を行います。 設 定 / 詳細 表示しない：文字スーパーを表示しない 日本語：文字スーパーを「日本語」で表示する 英語：文字スーパーを「英語」で表示する
地域設定 / 郵便番号設定	視聴地域と郵便番号を設定することで、データ連動時に視聴地域の情報を優先的に表示することができます。
光デジタル出力設定	光デジタル音声出力端子から出力する音声形式を設定します。 設 定 / 詳細 PCM：入力されている音声信号を PCM に変更して出力します。 自動（初期値）：入力されている音声信号を変換せずに出力します。
暗証番号設定	視聴制限の設定・解除を行うための暗証番号を設定します。 出荷時の状態（購入時状態）の暗証番号は、「0000」に設定されています。
視聴制限設定	視聴年齢が設定されている番組で、視聴制限の年齢を設定します。 （4 歳～ 19 歳、無制限から選択します。） 設定画面を表示させるには、暗証番号の入力が必要です。

システム情報

メニュー項目	操作・設定内容／設定値
放送メール※	デジタル放送波を通じて放送局から通知されるお知らせやソフトウェアのアップデート通知と、録画に失敗したときの通知（☞ 59 ページ）等も放送メールとして表示されます。
CS 掲示板 (CS1, CS2)	CS ボード 110 度 CS デジタル放送波を通じて通知される掲示板情報を表示します。
システム情報	本機のソフトウェアバージョン、B-CAS カードのカード種別、カード ID 情報を確認できます。

※ 放送局からの「チャンネルの変更通知」では、デジタル放送波の変更により番組が見れなくなることがあります。「デジタル放送のチャンネル設定－チャンネルスキャン（☞ 24 ページ）」で［再スキャン］を実行してください。

予約一覧

メニュー項目	操作・設定内容／設定値
視聴予約一覧	視聴予約した番組一覧を表示します。 緑 ボタンを押すことで、全画面表示と簡易表示を切り換えます。 「視聴予約の確認・取消しをする－視聴予約一覧」（☞ 41 ページ）
録画予約一覧	録画予約した番組一覧を表示します。 緑 ボタンを押すことで、全画面表示と簡易表示を切り換えます。 「録画予約の確認・取消しをする」（別冊 録画編 ☞ 15 ページ）

録画番組一覧

メニュー項目	操作・設定内容／設定値
録画番組一覧	録画した番組を一覧で表示します。 緑 ボタンで一覧表示全画面表示を切り換えます。
コンテンツ詳細	録画した内容の詳細情報を表示します。

お知らせ

- 録画番組の再生中には録画番組一覧を表示することはできません。

デジタル放送から自動でダウンロードする機能について

お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を自動的に更新する場合があります。ソフトウェアは、デジタル放送波にソフトウェア信号を載せて送信され、本機の電源が切られているとき（電源インジケータが赤色点灯時）に自動的にデータをダウンロード・更新します。
ソフトウェアの更新処理には約 10 分かかりますので、長期間ご使用にならないとき以外は電源プラグを抜かないようにしてください。

アイコン一覧

番組表や番組説明で表示されるアイコンを下記に示します。

ジャンルアイコン

 ニュース/報道

 スポーツ

 情報/ワイドショー

 ドラマ

 音楽

 バラエティ

 映画

 アニメ

 ドキュメンタリー/教養

 劇場/公演

 趣味/教養

 福祉

 お薦め

属性アイコン

アイコン	説明
4:3	映像の縦横比が4:3の番組
16:9	映像の縦横比が16:9の番組
SD	標準放送の番組
HD	ハイビジョン放送の番組
ステレオ	ステレオ音声放送の番組
モノラル	モノラル音声放送の番組
二重音声	音声多重放送の番組
	予約録画された番組
Surround	サラウンド放送の番組
5.1	5.1chサラウンド放送の番組
字	字幕放送の番組
	視聴制限付きの番組
	デジタル録画不可の番組
NEW	新たに録画した番組

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

- アンテナ線や電源コード、その他の接続（☞ 15 ～ 21 ページ）
- 入力切換の設定（☞ 29 ページ）
- 地上デジタル放送受信チャンネルの設定（下記のどちらか一方を行う）
  - ・テレビを見るためのかんたん初期設定（☞ 22 ページ）
  - ・デジタル放送のチャンネル設定－チャンネルスキャン（☞ 24 ページ）

以下の状態は故障ではありません。

① 画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある
画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

② ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る
周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。

③ デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る
デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

原因と対策

●全般

問　題	原　因	対　策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
電源が突然切れた / いつの間にか切れていた。	オフタイマーが設定されている。	オフタイマーを「オフ」にしてください。
	VGA 入力のモードで接続しているパソコンがパワーセーブモードに入った。	パソコンのパワーセーブモードから抜け出してください。
	コードの接続部が緩んでいるため、パソコンからの入力が途切れ、無信号になった。	しっかりと接続してください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き（+、－）で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光があたっている。	リモコン受光部に強い光があたっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮蔽物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

●映像（全般）

問　題	原　因	対　策
色がおかしい / 画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞ 43 ページ）
画面がまぶしい。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞ 43 ページ）
画面が一部切れる / 画面が歪む。	画面モードが適切でない。	画面モードを適切に設定してください。（☞ 32 ページ）

●映像（デジタル放送）

問　題	原　因	対　策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	アンテナ電源がオフになっている。	電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞ 29 ページ）
	B-CAS カードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。（☞ 20 ページ）
地上デジタルの受信設定ができない / 放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	適切に接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。
地上デジタルが映らない / 画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	適切に調整してください。
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	受信設定が適切でない。	受信設定をしなおしてください。（☞ 24 ページ）
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(衛星アンテナを直接つないでいる場合)	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取付け位置を変更してください。
	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。（☞ 15 ページ）
	衛星アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	受信レベルメニューを使用して BS/CS の受信レベルが最大になるようにアンテナの位置 / 角度 / 方向を調整してください。（☞ 27 ページ）
	アンテナ線 / ブースター / 分配器 / アンテナに不具合があり、安全のためにデジタル放送の全機能を停止している。	電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源供給設定（☞ 46 ページ）を行い、オンの状態にしてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(マンションなどの共同受信システムの場合)	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。（☞ 15 ページ）
	分波が適切でない。	サテライト U/V 分波器で、VHF/UHF と BS デジタル /110 度 CS デジタルを分波してください。

●映像（デジタル放送）

問　題	原　因	対　策
BS デジタル / 110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(複数の BS 機器をサテライト分配器でつないでいる場合)	本機からのアンテナ線を接続したサテライト分配器の端子が電流を通さないため、衛星アンテナ電源が供給されていない。	電流を通す分配器の端子にアンテナ線を接続してください。
BS デジタル / 110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(その他)	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタルは映るのに、110 度 CS デジタルが映らない。	アンテナや分配器、ブースターなどが 110 度 CS デジタルに対応していない。	110 度 CS デジタルに対応したものをお使いください。
	BS アナログチューナー内蔵のビデオデッキ経由でアンテナを接続している。	分配器を使って本機と BS アナログチューナー内蔵ビデオデッキそれぞれにアンテナを接続してください。
	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	受信レベルメニューを使用して CS の受信レベルが最大になるようにアンテナの位置 / 角度 / 方向を調整してください。(☞ 27 ページ)
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
画面が暗くなり、何も映らない。	ラジオ放送を受信している。	デジタル放送では音声のみの放送もあります。映像を楽しみたいときは、他のチャンネルをお選びください。

●接続した機器について

問　題	原　因	対　策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの画像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生 / 録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。
ビデオの再生 / 録画時に映像が乱れたり、映らなくなったりする。	コンポジット映像信号（通常の映像信号）を、AV アンプなどの外部機器を通してコンポーネント映像信号に変換すると、映像が乱れたり、映らなくなることがあります。	コンポジット映像信号を、本機の AV 入力に直接接続してください。

●音声（全般）

問　題	原　因	対　策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない / 左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	画質 / 音質設定メニューでスピーカーバランスを調整してください（☞ 44 ページ）
ヘッドホンの音が、スピーカーの音よりも聞こえにくい。	ヘッドホンのインピーダンスが合っていない。	インピーダンスの高いヘッドホンでは音が低めに出ます。本機はインピーダンスが 32 オームのヘッドホンに合わせて設計してあります。

●音声（デジタル放送）

問　題	原　因	対　策
音声が出ない / 音声がおかしい。	主音声 / 副音声の設定が適切でない。	音声切換の設定をしなおしてください。（☞ 31 ページ）

●音声（接続した機器）

問　題	原　因	対　策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。

●番組表

問　題	原　因	対　策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、待機状態にしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、待機状態にしてください。
	チャンネル登録していない。	チャンネル登録をしてください。
チャンネル検索で表示される番組が少ない。	電源コードを抜いている間（電源ランプ：消灯）は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	リモコンの電源ボタンで電源を切り、待機状態（電源ランプ：赤）にしてください。
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

●その他

問　題	原　因	対　策
▼選局▲ボタンで選局できない。	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
ペイパービューなどの有料放送が購入できない。	電話回線が適切に本機につながっていない。	適切に接続してください。
	電話回線の種類などが適切でない。	ペイパービューの購入には電話回線の接続が必要ですので、適切に接続してください。
	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映（記録）される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約 2 分以内）に電源コンセントを抜くと、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。
メニューが表示されない。	入力ソースによっては表示されないメニューもあります。	入力ソースを切り換えてください。
未読メールがありますと表示される。	デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。	メールの内容をご確認ください。（☞ 50 ページ）

●こんな表示が出たときは

エラー番号	メッセージ	対応方法
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	非放送番組を選局したため、視聴することはできません。
E202	信号が受信できません。	天候の影響、アンテナケーブルが切れている、アンテナの向きがずれているなどの理由で信号入力がなく、アンテナ線の接続に問題がある可能性があります。アンテナケーブルを確認し、正しく接続してください。
E203	現在放送されていません。	受信信号が弱い・無い、また放送終了後である可能性があります。地上デジタル放送の場合は、受信できる状態でいったん初期スキャンを行い、チャンネルを設定してください。
E204	このチャンネルは存在しません。	実在のチャンネルが割り当てられていないチャンネルを選局した場合に表示されます。実在のチャンネルが割り当てられた数字ボタンを押してください。
E209	アンテナとの接続を確認してください	アンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認して電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。
E210	この受信機ではこのチャンネルは受信できません。	非対応の放送サービスを選局したため、チャンネルを受信することができません。実在のチャンネルが割り当てられた数字ボタンを押してください。
−	B-CAS カードを正しく装着してください。	B-CAS カードの裏表、挿入方向を確認して、再挿入してください。カードの IC 部の汚れや，破損の可能性もあります。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A1FF A102	この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	正しい B-CAS カードを再挿入してください。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A103	このチャンネルは契約されてません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
	この IC カードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	
8901 8501 8301	このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
8902 9502 9302	契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約期限が切れた番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当するチャンネルのカスタマーセンターへ連絡をしてください。
8903 9503 9303	このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	視聴条件制限設定がされているため、番組をご覧いただけません。別のチャンネルに変更するか、該当するチャンネルのカスタマーセンターへ連絡をしてください。
6400 6581	IC カードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	B-CAS カードの破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A102 A104 A105 A106 A107	この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	正しい B-CAS カードを再挿入してください。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。

エラー番号	メッセージ	対応方法
EC01	この IC カードは使用できません。 正しい IC カードを装着してください。	正しい B-CAS カードを再挿入してください。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
EC02	この IC カードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	正しい B-CAS カードを再挿入してください。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
−	このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	数字ボタンにチャンネルが割り当てられていません。実在のチャンネルが割り当てられた数字ボタンを押してください。
−	番組詳細情報を表示できません。	番組詳細情報画面を表示中に番組が終了しました。再度番組詳細情報を表示してください。
−	切り替えられる音声がありません。	音声切り換えができない番組です。
−	録画中のためチャンネルは切り替えられません。	録画中は、他のチャンネルを視聴することができません。録画終了時間まで待つか、録画を中止してください。
−	コンテンツ再生中のため手動録画はできません。	録画番組の再生中は、録画することができません。再生を停止させた上で、再度操作をしてください。
−	コンテンツ再生中のため選局はできません。	録画番組の再生中は、放送チャンネルを視聴することはできません。再生を停止させた上で、再度操作をしてください。
−	コンテンツ再生中のため表示できません。	録画番組の再生中は、番組表や番組の詳細情報を表示できません。再生を停止させた上で、再度操作をしてください。
−	コンテンツ再生中のため電源 OFF できません。	録画番組の再生中は、電源を切ることができません。再生を停止させた上で、再度操作をしてください。
−	出力先ＨＤＤが満杯のため録画ができません。	録画先の USB ハードディスク容量が不足して録画できません。詳細は、別冊の［録画編］を参照して、録画した番組を削除するなどの操作をしてください。
−	録画先のＨＤＤが設定されていません。	別冊の［録画編］を参照して､録画先 USB ハードディスクの「録画機能設定」をしてください。
−	エラーが発生したため録画が開始出来ませんでした。	録画先の USB ハードディスクに何らかのエラーが発生したため録画できません。
−	予約と時間が重複しています。録画開始できません。	録画予約実行中に「録画」ボタンを押しました。 ダイレクト録画優先度が低い場合は、予約録画を優先します。
−	独立データ放送は録画出来ません。	独立データ放送チャンネルを録画しようとしました。 独立データ放送は録画することができません。
−	接続中のＨＤＤ内に再生可能なコンテンツがない為、再生出来ません。	別冊の［録画編］を参照して、録画番組を確認してください。
−	録画コンテンツの再生に失敗しました。	
−	再生準備が完了していません。しばらくしてから実施して下さい。	録画中番組の追いかけ再生をしたときに表示します。
−	マルチビュー番組ではありません。	マルチビュー対応番組でない番組です。
−	コンテンツ再生中のため切換できません。	録画番組の再生中は、外部入力切換ができません。再生を停止させた上で、再度操作をしてください。
−	録画中のため切換できません。	録画中は、外部入力切換ができません。録画を停止させた上で、再度操作をしてください。
−	接続されていないため切換できません。	外部入力端子への接続がありません。
−	番組表は表示できません。	外部入力中は、番組表を表示することはできません。デジタル放送へ切り換えてください。
−	録画できません。	外部入力中は、ダイレクト録画ができません。デジタル放送へ切り換えてください。

録画に関するお知らせメール

タイトル	お知らせメール詳細	お知らせメール発行理由
予約録画が失敗しました	優先度の高い番組の録画が行われていた為、番組の途中から録画を開始しました。	録画終了時に既に終了時間を超えている予約を検知した場合に通知します。
予約録画を中断しました	契約されていないチャンネルの為、録画を中断しました。	非契約番組録画時および非契約番組の録画開始を検知した場合に通知します。
予約録画を中断しました	受信状態が悪い為、録画を中断しました。	受信悪化状態が、５秒以上経過した場合に通知します。 （受信悪化状態とは、録画チャンネルが視聴できない状態を指します。）
予約録画を中断しました	録画先ＨＤＤの異常が検出された為、録画を中断しました。	ハードディスクの異常、または指定したハードディスクが未接続を検知した場合に通知します。
予約録画を中断しました	録画先ＨＤＤが満杯になった為、録画を中断しました。	ハードディスク容量の上限値到達を検知した場合に通知します。
予約録画が失敗しました	予約時刻に本体の電源が入っていなかった為、録画に失敗しました。	予約時刻に本体の電源コードが抜けており、録画ができない状態の場合に、本体へ電源を投入した時にすでに録画時刻を過ぎた予約があった場合に通知します。
予約録画を中断しました	録画禁止の番組である為、録画を中断しました。	録画禁止番組を録画した場合、または録画禁止に変更された場合に通知します。
予約録画が失敗しました	放送スケジュールの変更により、録画を開始出来ませんでした。	録画開始時に番組情報が消失を検知した場合に通知します。
予約録画が失敗しました	予約録画が失敗しました。 エラーコード：XXXX （下表 エラーコード詳細参照）	録画動作時にシステム内部エラーが発生した場合に、詳細エラーコードを付加して通知します。

●エラーコード詳細

エラーコード	エラーの詳細
1015	コピー制御情報による録画停止
1016	Ｔｕｎｅｒデバイス制御エラー
1017	選局シーケンス制御エラー
1018	ファイル書き込み関連エラー
1019	放送信号受信①関連エラー
1020	放送信号受信②関連エラー
1021	ＣＡＳ制御①関連エラー
1022	ＣＡＳ制御②関連エラー
1023	特殊再生ファイル生成関連エラー
1024	内部メモリ不足エラー
1025	ファイル操作関連システムエラー
1026	録画エンジン初期化エラー
1099	その他エラー

仕様

種類		液晶デジタルハイビジョンテレビ	液晶デジタルフルハイビジョンテレビ	
型名		AGS19RZ1	AGS22RZ1	AGS24RZ1
電源		DC12 V 3.33A（最大 40W）		
消費電力		18W（待機時：0.37W）	26W（待機時：0.37W）	26W（待機時：0.37W）
年間消費電力		30kWh/ 年	40kWh/ 年	40kWh/ 年
省エネ達成率		146%	162%	172%
外形寸法	幅	455.6mm	533.8mm	582.0mm
	高さ	328.1mm(スタンド含む)	375.2mm(スタンド含む)	403.7mm(スタンド含む)
	奥行き	149.0mm	182.3mm	182.3mm
質量（重量）		本体 約 2.5Kg(スタンド含む)	本体 約 3.1Kg(スタンド含む)	本体 約 4.3Kg(スタンド含む)
液晶パネル	画面サイズ	409.80mm(H) × 230.40mm(V)	476.64mm(H) × 268.11mm(V)	521.28mm(H) × 293.22mm(V)
	駆動方式	TFT アクティブマトリクス		
	画素数	1366(H) × 768(V)	1920(H) × 1080(V)	
	応答速度	5ms(Typ. On/Off)		
	視野角（標準値）	左右約 170°/ 上下約 160°		
	輝度（最大値）	250cd/㎡	250cd/㎡	300cd/㎡
	コントラスト比（標準値）	1000：1		
受信チャンネル		地上デジタル 000 ～ 999、BS デジタル、110 度 CS デジタル		
音声出力（スピーカー）		3W+3W		
入力・出力端子	ビデオ入力	・映像：1 V (p-p)、75 Ω、負同期 ・音声：500m V (rms)、20 k Ω以上 (インピーダンス)		
	D端子入力	・映像：Y 入力 1 V (p-p)、75 Ω、負同期：Cb/Cr 入力：0.7V(p-p)、75 Ω ・対応入力解像度：480i、480p、720p、1080i ・音声：500mV(rms)、20 k Ω以上 (インピーダンス)		
	ヘッドホン端子（出力）	ヘッドホン端子口径 3.5mm ステレオミニジャック、適合インピーダンス 8 Ω～ 32 Ω		
	PC 入力	ミニ D-Sub15 ピン		
		対応入力解像度： ・640 × 480 @ 60Hz　・720 × 400 @ 60Hz　・800 × 600 @ 60Hz ・1024 × 768 @ 60Hz		
		・1360×768@60Hz(推奨)	・1280 × 1024 @ 60Hz　・1920 × 1080 @ 60Hz (推奨)	
		音声：口径 3.5mm ステレオミニジャック 400mV 22 k Ω以上 (インピーダンス)		
	HDMI 入力	・CEC 対応 ・HDMI 対応入力解像度：480i、480p、720p、1080i、1080/60p、1080/24p		
	光デジタル音声出力端子	AAC5.1/PCM 出力		
使用条件		使用周囲温度：0℃～ 40℃、使用周囲湿度：20%～ 80% (結露のないこと)		
スタンド角度調節範囲		上約 15°、下約 5°		
付属品		AC コード、専用 AC アダプタ、リモコン (R008R)、アンテナケーブル、B-CAS カード、 取扱説明書 (2 冊)、保証書、単４乾電池(2 個)、スタンド固定ネジ(1 個)、VESA 用取付けネジ(4 個)		

※ PC との接続は、ミニ D-sub15 ピンでの接続を推奨します。HDMI 端子での接続による不具合につきましては、サポート対象外となりますのでご注意ください。

※ 仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

●本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用は保証の対象外となります。また、アフターサービスもご利用いただけません。
This product is exclusively for Japan.
Use outside the Japan becomes the outside of the guarantee. Moreover, you can not use after-sale service.

●本製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

本製品は、J-Moss(JIS C 0950:2008 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) に基づくグリーンマークを表示しております。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有について情報公開をしております。詳細は Web サイト、http://www.candela.co.jp/ をご覧ください。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認ください。問題が解決しないときは、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはテクニカルセンターまでご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間……お買い上げ日から 1 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはディーオンテクニカルセンターまでお問い合わせください。

■ディーオン　テクニカルセンター
　電話：045-472-8181
　ファクシミリ：045-473-6711
　tech@candela.co.jp

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

ご連絡していただきたい内容

お名前	
ご住所	
電話番号 /FAX	
E-mail	
製品型番	
製造番号	
お買い上げ日	
接続している機器	
具体的な状況	

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ディーオン（以下「当社」）は、お客さまよりお知らせいただいたお客さまの氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。
当社は、お客さまの個人の情報を、製品へのご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合は、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

株式会社 ディーオン

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5
新横浜ユニオンビルANNEX 6F
Phone 045-472-8181
Facsimile 045-473-6711
mail　info@candela.co.jp

サポート·修理窓口
ディーオン テクニカルセンター
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-11
新横浜ユニオンビル 3F
Phone 045-472-8181
Facsimile 045-473-6711
mail　tech@candela.co.jp

●本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。

●本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。

●本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。

●本製品の使用·故障によって生じた、直接·間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

●乱丁本·落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。